
7章 資料編

7.1 計画・設計

7.2 施工・施設別緑化

7.3 管理

7.4 用語集

表一覧

表 7-1	必要に応じて所属科の分割を行った分類群	7-1
表 7-2	鳥取県内の県・市町村の木と花	7-4
表 7-3	高木の樹形分類	7-5
表 7-4	中・低木の樹形分類	7-6
表 7-5	花木の開花期一覧表	7-7
表 7-6	野鳥と食餌植物一覧表	7-10
表 7-7	紅葉の美しい樹木	7-16
表 7-8	香りのある樹木	7-16
表 7-9	樹皮の珍しい樹木	7-16
表 7-10	土質と植物	7-17
表 7-11	耐瘦性と植物	7-17
表 7-12	耐陰性と植物	7-17
表 7-13	耐乾性と植物	7-18
表 7-14	湿地に耐える樹木	7-18
表 7-15	防風林用植栽樹種	7-18
表 7-16	耐潮性の大きい樹木	7-19
表 7-17	樹木の防火性	7-19
表 7-18	樹木の耐火性	7-19
表 7-19	SO ₂ に対する葉の抵抗性	7-20
表 7-20	オゾン(オキシダント)に対する葉の抵抗性	7-20
表 7-21	防音用植栽樹種	7-20
表 7-22	移植の容易度と樹木	7-21
表 7-23	樹木の根系と耐潤性樹木一覧表	7-22
表 7-24	肥料木	7-28
表 7-25	ツル性植物の特性一覧表	7-29
表 7-26	使用樹種選定の例	7-31
表 7-27	立地条件によるのり面用植物選択一覧表	7-31
表 7-28	季節別の樹種一覧	7-32
表 7-29	その他、プランターボックスに使用される中・低木、地被類	7-33
表 7-30	常緑針葉樹	7-34
表 7-31	落葉針葉樹	7-35
表 7-32	常緑広葉樹(1)	7-36
表 7-33	常緑広葉樹(2)	7-37
表 7-34	常緑広葉樹(3)	7-38
表 7-35	落葉広葉樹(1)	7-39

表 7-36	落葉広葉樹(2)	7-40
表 7-37	落葉広葉樹(3)	7-41
表 7-38	落葉広葉樹(4)	7-42
表 7-39	特殊樹木	7-43
表 7-40	緑化用地被類特性一覧(1)	7-44
表 7-41	緑化用地被類特性一覧(2)	7-45
表 7-42	緑化用地被類特性一覧(3)	7-46
表 7-43	緑化用地被類特性一覧(4)	7-47
表 7-44	緑化用地被類特性一覧(5)	7-48
表 7-45	緑化用地被類特性一覧(6)	7-49
表 7-46	芝の種類とその特性一覧表	7-50
表 7-47	施工管理内容	7-53
(表 7-48)	花木着花習性別剪定時期	7-62
(表 7-49)	花木の開花期と花芽分化期	7-62
(表 7-50)	除草方法と機器一覧表	7-63
(表 7-51)	除草の対象となる主な雑草例	7-64
(表 7-52)	植物発生材料のリサイクル方法	7-65
(表 7-53)	搬入時を 1.00 とした場合の重量・容積変化係数	7-66

図一覧

(図 7-1)	鳥取空港緩衝緑地平面図	7-51
(図 7-2)	緩衝緑地配置図	7-52
図 7-3	植栽維持管理図面（道路台帳使用）	7-54
図 7-4	支柱形式（その 1）	7-70
図 7-5	支柱形式（その 2）	7-71
図 7-6	支柱形式（その 3）	7-72
図 7-7	支柱形式（その 4）	7-73
図 7-8	支柱形式（その 5）	7-74

7-1 計画・設計

7-1-1 緑化樹種選定の基本事項

名称は標準的な和名をカタカナ書きで採用。科名については文部省編・学術用語集・植物学編の大分類によったが、表 7-1 に示すものは分割しても良いこととなっているので一部採用している。

1) 名称および科名

(※樹木以外についても緑化用材料についてはここで示す。)

表 7-1 必要に応じて所属科の分割を行った分類群

イチイ科-----	カヤノキ科-----	カヤ・キャラボク等
スギ科-----	ヌマスギ科-----	ラクウショウ等
	コウヨウザン科-----	コウヨウザン等
	セコイア科-----	メタセコイア等
	コウヤマキ科-----	コウヤマキ
マツ科-----	モミ科-----	モミ等
イネ科-----	タケ科-----	タケ・ササ等
スイレン科-----	ハス科-----	ハス
メギ科-----	ナンテン科-----	ナンテン等
バラ科-----	シモツケ科-----	シモツケ等
	ナシ科-----	ナシ・リンゴ・カリン等
	サクラ科-----	ソメイヨシノ・ヤマザクラ等
アカバナ科-----	ヒシ科-----	ヒシ等
ミズキ科-----	ハナイカダ科-----	ハナイカダ
ヒルガオ科-----	ネナシカズラ科-----	ネナシカズラ
ウラボシ科-----	オシダ科-----	オシダ
	ワラビ科-----	ワラビ等
	シノブ科-----	ノキシノブ等
	キジノオシダ科-----	キジノオシダ等
	その他数種あり	

2) 樹種一覧表の見方

巻末に緑化樹種一覧(表 7-30-1~5)を示す。本資料は、緑化において使用可能な樹種等を一覧表にしたものであり、次のような要領で記載してあり、適用箇所には○印をした。

①和名

標準的な和名に基づいて 50 音順に記載してある。

ア) 樹種

針葉樹、広葉樹、常緑樹、落葉樹、高木、中木、低木、特殊の 8 段階に分類した。

注) 高木：主として樹高 3m 以上の形状寸法で用いる樹種
中木：主として樹高 1～3m 未満の形状寸法で用いる樹種
低木：主として樹高 1m 未満の形状寸法で用いる樹種
特殊：主に蔓物、ササ類、タケ類、ヤシ類、バショウ、ソテツ等

②適応地域

各樹種等について、生育適性を海岸部、平野部、山間部、寒冷地の別に記載してある。

なお、平野部は土壌により火山灰と、真砂土に適するものに分類し、また山間部は中山間(500m位)と亜高山(500m以上)とに分類した。

これはあくまで標高や土壌の一部についての分類であり、本県においてはこの他に、潮風・寒風害との組み合わせで判断する必要がある。

また、参考資料として資料編(表 7-3-1、2)において土質に関する一般的なものを示した。

③樹木の特性

a)耐陰性

樹木本来の陰樹・陽樹とは必ずしも一致しない。(表 7-3-3 を合わせ参照)

- ・ 耐陰：比較的日陰地でも耐えるもの
- ・ 好陽：比較的陽光を好むもの

b)耐乾湿性

耐乾性があるから砂地でもよいとか、耐湿性があるから水湿地に使用できるものではなく、その他の項目と複合的に考察する必要がある。(表 7-3-4・5・19 を合わせ参照)

- ・ 耐乾：乾燥に比較的耐えるもの
- ・ 耐湿：湿気に比較的耐えるもの

c)移植

マメ科の植物の一部やヒノキの古木等ほとんど移植のできないものもあるが、一般的には緑化用に良好な管理のもとで栽培されたものは、適期に移植すれば活着するので、自生のものや、幼木の植付け後かなりの年数を経て直根等を持つものを対象として難・易度を付けた。(表 7-3-13 を合わせ参照)

- ・ 難：移植時の活着が比較的難しいもの
- ・ 易：移植時の活着が比較的容易なもの

d)成長速度

- ・ 速：比較的成長の速いもの
- ・ 遅：比較的成長の遅いもの

e)耐風性

本県では潮風や寒風との関連を見る必要がある。

- ・ 風強：比較的強風に耐えるもの
- ・ 風弱：比較的風に弱いもの

f)耐火性

耐火性と防火性との違いがあるが、常緑広葉樹の一部を除いては耐火性に主体をおいた分類とした。なお、防火樹としてのものは(表 7-3-8)、耐火性については(表 7-3-9)を合わせ参照。

- ・ 火強：比較的火に耐えるもの
- ・ 火弱：比較的火に弱いもの

g)耐煙害

排気ガスや大気汚染に対する抵抗性の強弱を分類したが、汚染物質の種類や複合汚染、その他植栽地の環境や生長度合い等で変化が多いので注意を要する(表 7-3-10・11 を合わせ参照)

- ・ 煙強：比較的煙害に強いもの

- ・ 煙弱：比較的煙害に弱いもの

h) 耐潮性

単なる強弱ではなく、寒風との組み合わせで下記の4地帯に分類したが、砂丘地地盤との関係を考慮に入れた場合は、クロマツの苗木やグミ等のごく一部のものを除けば、直接海に面した砂地での植栽による活着は防潮風垣等の施工を合わせて考慮しなければならない。(表7-3-7を合わせ参照)

- ・ Belt I：潮風の強さがA級の場合で、防潮風林として、樹林の最前部の帯状部分に植栽可能なもの。
- ・ Belt II：潮風の強さがA級の場合で、防潮風林として、樹林の中央部の帯状部分に植栽可能なもの。
- ・ Belt III：潮風の強さがA級の場合で、防潮風林として、樹林の最後部の帯状部分に植栽可能なもの。
- ・ 内 陸：Belt I、II、IIIの内側に植栽可能なもの。

i) 観賞

特に花、葉の美しいものおよび実が美しいか、野鳥のえさとなるものをあげた。(花については表7-5を、実については表7-6を、葉の美しいものは表7-7を合わせ参照、その他に芳香のある樹木(表7-8)、樹皮の変わっている樹木(表7-9)についても合わせて参照するとよい。

j) 用途

主として、どのような場所によく使われるかを、以下の用途で分けた。

- ・ 主木、街路樹、植込、列植、棚作り、根締、地被、生垣、刈込、境界植栽、特用樹、壁面緑化、果樹、植木、神木、群植、緑陰樹、荒地、緑化

k) 繁殖法

繁殖方法は実生、挿し木、接ぎ木、株分け、取り木で分け表中には、先頭文字で代表させている。

1) 防音性

防音機能を期待できる樹種としては、葉が厚くよく繁り(密度が高く)、常緑のものであればその効果はある。(表7-3-12を参照)

7-1-2 樹種選定

1) 鳥取県市町村の木と花

鳥取県内の県、市町村の木と花を表 7-2 に示す。これらの木と花は、各緑地におけるシンボルとして、適切に活用することが望ましい。

表 7-2 鳥取県内の県・市町村の木と花

県・市・町・村・名	木	花
鳥取県	ダイセンキャラボク	二十世紀ナシ
鳥取市	サザンカ	サザンカ
米子市	—————	ツツジ
倉吉市	ツバキ	ツツジ
境港市	クロマツ	キク
岩美郡	国府町	マツ
	岩美町	マツ
	福部村	クロマツ
八頭郡	郡家町	キンモクセイ
	船岡町	サザンカ
	河原町	モクセイ
	八東町	マツ
	若桜町	サクラ
	用瀬町	マツ
	佐治村	トチ
	智頭町	スギ
	気高郡	アカシヤ
鹿野町	ツバキ	
	青谷町	シイ
	ナシ	
東伯郡	羽合町	クロマツ
	泊町	ナシの木
	東郷町	ナシの木
	三朝町	トチの木
	関金町	シイ
	北条町	クロマツ
	大栄町	マツ
	東伯町	クロマツ
	赤碕町	船上山ゴヨウマツ
	西伯郡	—————
西伯郡	西伯町	—————
	会見町	—————
	岸本町	マツ
	日吉津村	マツ
	淀江町	モクセイ
	大山町	ダイセンキャラボク
	名和町	マツ
	中山町	サザンカ
日野郡	日南町	イチイ
	日野町	スギ
	江府町	ブナ
	溝口町	—————

※国体の木： ヤブツバキ・サンゴジュ・ケヤキ・ヤマモミジ・ナツツバキ・ヤマボウシ・ムクゲ・コブシ・リョウブ・アジサイ・マサキ・タニウツギ・キョウチクトウ (S. 60)

2) 形態別

① 樹形別

樹木は樹種特有の樹形（基本樹形）を持っている。その樹形は、美観構成や各種機能の発揮に大きな影響を及ぼすため、樹種の選択においては常に樹形を考慮する必要がある。また、基本形にあわせて剪定等の管理を行うのが合理的である。

表 7-3 高木の樹形分類

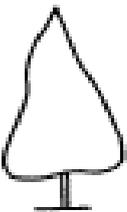
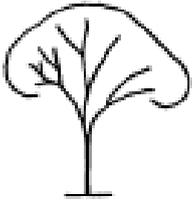
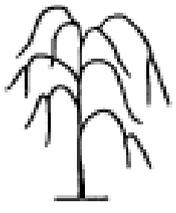
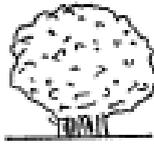
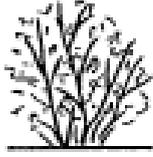
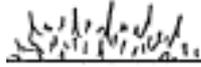
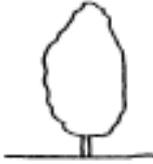
卵形		プラタナス トウカエデ ニセアカシア ユリノキ	球形		エンジュ クス マテバシイ シイ
円錐形		イチョウ メタセコイア アメリカフウ ヒマラヤシーダー コウヤマキ	盃形・扇形		ケヤキ アキニレ トチノキ
狭卵円形		ポプラ カイズカイブキ	下垂形		ヤナギ シダレザクラ シダレエンジュ
不定形		クスノキ タブ			

表 7-4 中・低木の樹形分類

しだれ形		レンギョウ ハギ類 アベリア	球形		キョウチクトウ トウネズミモチ
株立形		アジサイ ヤツデ アオキ ヒイラギナンテン クチナシ ナンテン	匍匐状		ハイバクシン ツルマキ
円筒形・長卵円形		サンゴジュ キンモクセイ モッコク ツバキ カナメモチ	刈込仕立て形		ハクチョウゲ ドウダンツツジ イヌツゲ ウバメガシ ナワシログミ ヒイラギモクセイ マメツゲ イブキ クサツゲ
盃形状形		サツキ クルメツツジ キリシマツツジ マルバシャリンバイ カンツバキ ヒメクチナシ オオムラサキ			

②花木

表 7-5 は、造園植物として花を観賞対象とする樹木(花木)の、花の色と開花期を示すものである。被植部の形成にあたっては、その機能を果せるような樹種構成を決めねばならないが、花木は景観・修景上の効果とともに、季節感をあらわす大きな要素であるから、本表を参照して、その選定に誤りのないようにすべきである。

また本表には、自然植生の調査等の参考となるので市場性のないものも含まれているので、採用に当たっては注意すること。

表 7-5 花木の開花期一覧表

名称	花の色	常緑		落葉		開花期											
		高木	低木	高木	低木	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ロウバイ	淡黄			●	●	—											
ハンノキ	暗赤			●			—										
マンサク	黄			●			—										
ハナアカシア	紅			●	●		—										
オウバイ	黄						—										
フサアカシア	黄	●					—										
ウメ	白・紅			●			—										
ギンヨウアカシア	黄	●					—										
ダンコウバイ	黄			●			—										
キブシ	黄				●		—										
コブシ	白			●			—										
ハモクレン	白			●			—										
シダレザクラ	淡紅			●			—										
ヒュウガミズキ	黄				●		—										
ハシバミ	黄				●		—										
ネコヤナギ	白			●	●		—										
ヒガンザクラ	紅			●			—										
サンシュユ	黄				●		—										
ソメイヨシノ	淡紅・白			●			—										
オオシマザクラ	白			●			—										
ミツマタ	黄				●		—										
ウグイスカズラ	淡紅				●		—										
ヒイラギナンテン	黄		●				—										
ゴモジュ	白		●				—										
ツバキ	紅・白	●				—	—										—
モモ	紅・白			●			—										
トサミズキ	黄				●		—										
レンギョ	黄				●		—										
ユキヤナギ	白				●		—										
メギ	黄				●		—										
ジンチョウゲ	白紫		●				—										
アセビ	白		●				—										
ハナズオウ	黄			●			—										
ヤマザクラ	淡紅			●			—										
アンズ	淡紅			●			—										
スモモ	白			●			—										
ズミ	淡白				●		—										
ボケ	紅・白				●		—										
ナガバアカシア	黄	●	●				—										
クロモジ	黄				●		—										
ニワウメ	淡紅				●		—										
名称	花の色	常緑		落葉		開花期											
		高木	低木	高木	低木	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ユスラウメ	白				●												
ヤマモモ	暗赤	●															
シキミ	淡黄	●															
アケビ	淡紫				●												
ハナカイドウ	淡紅			●													
ハナノキ	紅			●													
モクレン	赤				●												
イイギリ	紫			●	●												
シジミバナ	白				●												

ハコネウツギ	白紅				●															
ニワフジ	淡紫紅				●															
エニシダ	黄				●															
ムレスズメ	黄				●															
カナメモチ	白	●			●															
シャリンバイ	白				●															
ハクチョウゲ	白				●															
キソケイ	白				●															
カザグルマ	黄				●															
テイカカズラ	紫				●				●											
ツキヌキニンドウ	白				●				●											
ツルバラ	暗紅				●				●											
ミズキ	紅				●			●	●											
ガクアジサイ	白				●				●											
タイサンボク	黄	●			●				●											
テッセン	白				●				●											
ブラシノキ	白	●			●				●											
サンゴジュ	赤	●			●				●											
クチナシ	白				●				●											
コクチナシ	白				●				●											
ネムノキ	白				●				●											
ナツツバキ	紅				●				●											
ボタン	白				●				●											
イボタノキ	紅・白・黄				●				●											
イボタノキ	紅				●				●											
ガマズミ	白				●				●											
トベラ	白				●				●											
ザクロ	白				●				●											
キンシバイ	紅				●				●											
アジサイ	黄				●				●											
	青				●				●											
	紫				●				●											

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)
 ※開花期は地域性を考慮して一部修正

野鳥 食餌植物	アゲラ	アゲラ	アカハラ	ウソ	オシドリ	オナガ	カケス	カラス	カワラヒロ	キジ	キジバト	コガモ	コゲラ	コジケイ	コムドリ	シジヨウカラ	シメ	シヨウヒタキ	シロハラ	スズメ	ツグミ	ヒヨドリ	ホウシロ	マガモ	マヒワ	ムクドリ	メジロ	ヤマガラ	ヤマドリ	レンジャク	ルリヒタキ	人間の食用	雄雌異・同株	熟果期
サンゴジュ																																	9~11	
シキミ																																	9	
シヤクハク																																		10~11
シユロ																																		10
シラカシ																																		10
シロタモ																																		11~2
スタシイ																																		10
ソヨゴ																																		10~11
タブ																																		10~11
タラヨウ																																		10~11
チャ																																		11
ツゲ																																		10
ツバキ																																		10
トベラ																																		10~11
ツバキ																																		5~6
ツバキ																																		10~12
ナンテン																																		11
ニッケイ																																		10~11
ネズミモチ																																		12
ヒイラギ																																		10~11
ヒサカキ																																		10~11
ヒラカンサ																																		10~11
ヒワ																																		5~6
マサキ																																		10~12
マテバシイ																																		10
マンリョウ																																		11上~6中

野鳥 食餌植物	アオゲラ	アカゲラ	アカハラ	ウン	オシドリ	オナガ	カケス	カラス	カワラヒワ	キツ	キツバト	コガモ	コケラ	コシキイ	コムクドリ	シシキウカラ	シメ	ジョウビタキ	シロハラ	スズメ	ツグミ	ヒヨドリ	ホウシロ	マガモ	マヒワ	ムクドリ	メジロ	ヤマガラ	ヤマドリ	レンジヤク	ルリビタキ	人間の食用	雌雄異・同採	熟果期		
モチノキ		○								○	○			○							○	○											異	11～12		
モッコク																						○													10	
ヤツテ										○	○										○														3～5	
ヤブコウジ							○	○		○	○										○	○													11	
ユズリハ		○														○					○	○												10		
落葉広葉樹																																				
加林苧																																				10
アキグミ																																			10	
アズキナシ																																			10	
アワブキ																																			10	
イイギリ																																			10	
イチジク																																			10	
イチヨウ																																			10	
イチョウ																																			10	
イボタ																																			10	
カイヤガラ																																				5
ウコキ																																				10
ウシゴロン																																				10
ウメ																																				10
ウメモドキ																																				6
ウルシ																																				10
ウツギ																																				10
エゴノキ																																				8
エノキ																																				10

野鳥 食餌植物	アオゲラ	アカゲラ	アハラ	ウソ	オシドリ	オナガ	カケス	カラス	カワラヒロ	キジ	キジバト	コガモ	コゲラ	コジテイ	コムクドリ	シジキウカラ	シメ	シヨウヒタキ	シロハラ	スズメ	ツグミ	ヒヨドリ	ホウジロ	マガモ	マヒワ	ムクドリ	メジロ	ヤマガラ	ヤマドリ	レンジチク	ルリヒタキ	人間の食用	雌雄異・回株	熟果期	
ナナカマド	○	○																																9~10	
ニシキギ																																		10~11	
ニワトコ																																		10	
ヌルデ																																		10	
ネコノチヂ																																		10	
ノイバラ																																		11	
ワカバ																																		10	
ハシバミ																																		10	
ハゼノキ																																		10~11	
ハナミズキ																																		10	
ハマボウ																																		10	
ハンノキ																																		10	
刀剪ノ助																																		10	
ホオノキ																																		9	
マメガキ																																		10~11	
マユミ																																		10	
スズキ																																		10	
シハカキ																																		8~10	
ムクノキ																																		9~10	
ムシカリ																																		10	
ムササビ																																		10~11	
メギ																																		10	
モモ																																		7	
ヤブデマリ																																			10
ヤマハシ																																		9	

野鳥 食餌植物	雌雄異・同株																熱果期			
	ヤマザクラ	つるもの アケビ	エビヅル	キツタ	クマヤナギ	柳ノハ	サルナシ	スイカズラ	ツタ	ツタウルシ	アザミ	ツルマサキ	ノダフジ	ノブドウ	ウツギ	マタタビ		シハナシ	ヤマブドウ	
ヤマザクラ	○																			6~7
つるもの アケビ		○																		10
エビヅル		○																		10~11
キツタ			○																	4~5
クマヤナギ				○																8
柳ノハ					○															10
サルナシ						○														10
スイカズラ							○													10
ツタ								○												10~11
ツタウルシ									○											10
アザミ										○										10
ツルマサキ											○									10~11
ノダフジ												○								10~11
ノブドウ													○							10~11
ウツギ														○						10
マタタビ															○					10
シハナシ																○				10
ヤマブドウ																	○			10~11

※ 雌雄異・同株の欄で「両」となっているのは異株の場合と同株の場合があり、熱果期で「翌」とは開花の翌年でないとも実が熟さないものを示す。

④紅葉

表 7-7 紅葉の美しい樹木

紅葉の色	樹種
紅色・紅紫色	ナンテン・カエデ類・イロハモミジ・アメリカフウ・カキ ナナカマド・ナンキンハゼ・ヤマボウシ・ヌルデ・ハゼノキ ブナ
黄色・橙色・褐色	イチョウ・ラクウショウ・トチノキ・ニレ・ケヤキ・ユリノキ イタヤカエデ・カツラ・ムクロジ・カラマツ・クヌギ・ナラ カシワ

⑤香気

表 7-8 香気のある樹木

香気のある部分	樹種
花	ロウバイ・ウメ・フサアカシア・ジンチョウゲ・ハクモクレン オガタマノキ・サトザクラ・ライラック・ニオイフジ・エンジ ユ ニセアカシア・ホオノキ・エゴノキ・クチナシ・ミヤマシキミ モッコク・タイサンボク・キンモクセイ・ギンモクセイ ヒイラギ
果実	ボケ・クサボケ・カリン・ユズ
葉	クスノキ・サンショウ・ゲッケイジュ・ニオイヒバ・ニッケイ

⑥樹皮

表 7-9 樹皮の珍しい樹木

樹種	樹皮の剥離の状態	樹皮の色
イスノキ	鱗片状薄片	帯紅色
カゴノキ	不規則な鱗片状	帯赤褐色～灰白色
カリン	不規則な波紋状	帯褐色
ケヤキ	不規則な鱗片状	灰白色
サルスベリ	光沢があり平滑	赤褐色
シラカンバ	薄く帯状	白色
プラタナス (スズカケノキ)	不規則な斑紋状	帯黄色～灰白色
ナツツバキ	不規則な斑紋状	帯紅褐色
バクチノキ	不規則な鱗片状	帯紅色
ヒメシャラ	不規則な斑紋状	帯紅色

3) 環境条件別

表 7-10 土質と植物

土 質	植 物 名
砂質壤土	クロマツ・スギ・スズカケノキ・サクラ類・ニセアカシア・エンジュ ナンキンハゼ・サルスベリ・ヤマモモ・ウバメガシ・トベラ・カナメモチ シャリンバイ・ヒメユズリハ・タラヨウ・モチノキ・マサキ・ツバキ ハマヒサカキ・アオキ
壤 土	イチョウ・ヒマラヤスギ・コウヤマキ・ポプラ・ユリノキ・アメリカフウ フサアカシア・クスノキ・トチノキ・アラカシ・マテバシイ・コブシ タイサンボク・ナナカマド・イヌツゲ・カエデ類・モッコク・ヤツデ トウネズミモチ・サツキ
植質壤土	ヒノキ・イトヒバ・クジャクヒバ・アスナロ・クヌギ・ハルニレ・ケヤキ エノキ・ムクノキ・アオギリ・アキニレ

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

表 7-11 耐瘦性と植物

高 木	ネムノキ・モリシマアカシア・フサアカシア・ニセアカシア・アカマツ クロマツ・カバ類・ヤナギ類・ヤマモモ・ヒメヤシャブシ
低 木	ネズミサシ・ヤマハギ・アキグミ・ナワシログミ・エニシダ

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

表 7-12 耐陰性と植物

陰 樹	イチイ・イヌマキ・モミ・ドイツトウヒ・コウヤマキ・ヤマモモ・シラカシ マテバシイ・アセビ・ゲッケイジュ・ネズミモチ・トベラ・イヌツゲ モチノキ・タラヨウ・アジサイ・ツバキ・ヒサカキ・ハマヒサカキ・マサキ モッコク・ヤツデ
中 性 樹	ソテツ・ラクウショウ・サワラ・サクラ類・カイヅカイブキ・アラカシ クヌギ・アキニレ・ヒイラギナンテン・タイサンボク・モクレン・クスノキ カナメモチ・ナナカマド・エンジュ・ユズリハ・カエデ類・トチノキ オオムラサキ・キンモクセイ・ユキヤナギ・ヤマブキ
陽 樹	イチョウ・ヒマラヤスギ・アカマツ・クロマツ・ダイオウショウ・フウ イタリアサイプレス・コノテガシワ・モクマオウ・シダレヤナギ・ポプラ ケヤキ・ユリノキ・スズカケノキ・アカシア・ナンキンハゼ・トウカエデ アオギリ・サルスベリ・キョウチクトウ・シャリンバイ・ピラカンサ

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

表 7-13 耐乾性と植物

分類	耐乾性大	耐乾性小
針葉樹 高木	アカマツ・クロマツ・カラマツ イチョウ・トウヒ・モミ	イヌマキ・スギ・サワラ
低木	ネズミサシ・ハイビャクシン	
広葉樹 常緑高木	ウバメガシ・オリーブ・ユーカリ	カルミア・ジンチョウゲ
常緑低木	アセビ・アベリア・トベラ ナンテン・ヒサカキ	
落葉つるもの	アケビ	カツラ・シナノキ・ナツツバキ コブシ・トチノキ・ハナミズキ モミジ類・ユリノキ アジサイ・コデマリ・ヤマブキ
落葉高木	アカシヤ類・コナラ・ヤマナラシ シラカバ・ハンノキ・ウメ・ボケ ヤナギ類・サクラ・ニセアカシア	
落葉低木	エニシダ	
単子葉樹	ユッカ・ドラセナ・ソテツ・ササ	
草本	シバ	

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

表 7-14 湿地に耐える樹木

種別	高木	低木
針葉樹	スギ・ラカンマキ・ラクウショウ	
常緑広葉樹	ユーカリ	
落葉広葉樹	アキニレ・エノキ・クヌギ・クルミ類・サイカチ ギョリュウ・コブシ・ポプラ・ミズキ・センダン トネリコ・ネムノキ・ハンノキ・ムクノキ ヤナギ類	アジサイ・ウツギ オオデマリ・ノバラ
つるもの	フジ	
単子葉樹	メダケ・ハチク・ダンチク	

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

表 7-15 防風林用植栽樹種

気候帯	樹種
平地	クロマツ・イヌマキ・コウヨウザン・マダケ・モウソウチク・アラカシ シラカシ・ウラジロガシ・イチイガシ・アカガシ・シイノキ・クスノキ タブノキ・ヤブニッケイ・ヤブツバキ・マサキ
中山間	モミ・ツガ・アカマツ・コウヤマキ・アスナロ・イチョウ・ケヤキ ムクノキ・ハンノキ
亜高山	スギ・ヒノキ・サワラ・ウラジロモミ・アスナロ・ポプラ・カシワ ミズナラ・ネグンドカエデ
高冷地	カラマツ

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

表 7-16 耐潮性の大きい樹木

種 別	高 木	低 木
針 葉 樹	アスナロ・イヌマキ・クロマツ カイズカイブキ・ラカンマキ	ハイビャクシン・ハイネズ
常緑広葉樹	ウバメガシ・カクレミノ・サンゴジュ シイ・タブ・ツバキ・ヒメユズリハ・ビワ マサキ・マテバシイ・ヤマモモ・ユーカリ	アオキ・キョウチクトウ シャリンバイ・マルバグミ トベラ・ハマヒサカキ ナワシログミ
落葉広葉樹	アカメガシワ・イチジク・イヌビワ エノキ・オオシマザクラ・カシワ ザクロ・サワグルミ・シダレザクラ ニセアカシア・ヌルデ・ネムノキ・モモ	オオバイボタ・ギョリュウ ハマナス・ハコネウツギ ハマゴウ・ガクアジサイ
単子葉樹	ソテツ・フェニックス	ユッカ類・リュウゼツラン
草 本	ハマユウ・パーミューダグラス	

(「植栽の理論と技術」より抜粋)

※耐潮性が大きいと考えられている樹種でも、内陸部で育成したものは十分潮風に鍛えられていないから、海岸近くで育成したものに比べると耐潮性が劣る。

※サクラの類はあまり強くないが、オオシマザクラ等はサクラ類の中で、ソメイヨシノやヤマザクラに対して比較的強いものである。

表 7-17 樹木の防火性

強 い	シイノキ・イチョウ・シラカシ・タブ・ソバキ・モッコク・アカガシ タラヨウ・ヤブニッケイ・カラマツ・ミズキ・アオキ・サンゴジュ ユズリハ・シキミ・モクセイ類
中 位	プラタナス・ユリノキ・キリ・アオギリ・ヒマラヤスギ・カシワ コウヤマキ
弱 い	クロマツ・アカマツ・サワラ・ケヤキ・ヒノキ・ポプラ・モミ ニセアカシア・サルスベリ・スギ・カヤ・イヌツゲ

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

表 7-18 樹木の耐火性

強 い	カシワ・クヌギ・イチョウ・シダレヤナギ・シュロ・プラタナス ユリノキ・ポプラ・ニセアカシア・トネリコ
弱 い	スギ・カヤ・モミ・ヒマラヤスギ・タブ・タラヨウ・ヤツデ・ヒイラギ キョウチクトウ・サルスベリ

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

※防火性の強弱と、耐火性の強弱に錯綜が見えるが、火災によって枯死はしても、防火には効力のあるもの(タラヨウ等)がある。

表 7-19 SO₂に対する葉の抵抗性

強 い	ヒノキ・カイヅカイブキ・キョウチクトウ・クロガネモチ・ソテツ トウネズミモチ・ワシントンヤシ・イヌマキ・キミガヨラン ゲッケイジュ・トウジュロ・ヒイラギナンテン・イボタ
やや強い	シャリンバイ・トベラ・サンゴジュ・ベニカナメ・イタリアサイプレス クス・タイサンボク・クロキ・ツバキ・サザンカ・アオキ・モクセイ マテバシイ・ハイビャクシン・チャノキ・シャシャンボ・ヒサカキ オガタマノキ・マサキ
普通	モクマオウ・イチョウ・ヤマハンノキ・ヤシャブシ・ヤナギバアカシア アメリカフウ・クロマツ・フサアカシア・ネグンドカエデ・コナラ コウヨウザン・ヒイラギ・ヒムロ・ドウダンツツジ・ウバメガシ・ネム ヒイラギモクセイ・ナンテン・ヨドガワツツジ
やや弱い	ナンキンハゼ・アカマツ・スギ・メタセコイア・イタリーポプラ・ケヤキ スイショウ・シマトネリコ・サルスベリ・ボケ・シイ・クリ・ベニシタン ザクロ・ヌルデ・エンジュ・ヒマラヤスギ・ハナズオウ・ケイオウザクラ
弱 い	ユーカリシネリヤ・ユーカリロストラタ・セコイア・ブラッシノキ ピラカンサ

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

表 7-20 オゾン(オキシダント)に対する葉の抵抗性

甚強い	イチョウ・ネズミモチ・キョウチクトウ・クサギ・タカノツメ・クロマツ スギ・ヒノキ・クスノキ・トベラ・アラカシ
強 い	ソゴ・ミカン・ユリノキ・スズカケノキ・アベマキ・コナラ・レンギョウ
普通	アカマツ・オオムラサキ・ソメイヨシノ・ナシ・セイヨウバラ
弱 い	サツキツツジ・クチナシ・ハギ・アジサイ・ケヤキ・ライラック
甚弱い	シモクレン・ボタン・シダレヤナギ・ポプラ・カジイチゴ

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

表 7-10～18) は、公害抵抗性と植物の関係を示すが、文献・資料により相異があるので、計画に当たっては、他資料の調査や事例の調査が必要である。

表 7-21 防音用植栽樹種

種 別	樹種
常 緑 高 木	カイヅカイブキ・カナメモチ・クスノキ・クロガネモチ・ゲッケイジュ サカキ・シイノキ・タイサンボク・マテバシイ・モチノキ・モッコク ヤブニッケイ・ヤマモモ・シラカシ・アラカシ
常 緑 中 木	上記のほか、ウバメガシ・カクレミノ・サザンカ・サンゴジュ・ツバキ ナギ・ネズミモチ・ヒイラギ・ヒイラギモクセイ
常 緑 低 木	アオキ・アセビ・アベリア・イヌツゲ・オトメツバキ・トベラ キョウチクトウ・シャリンバイ・ジンチョウゲ・タマイブキ・チャ・ツツジ ナワシログミ・ハマヒサカキ・マメツゲ・ヤツデ

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

4) 移植の容易別

表 7-22 移植の容易度と樹木

活着しやすい樹種	イチョウ・ラクウショウ・ソテツ・ポプラ・シダレヤナギ・ヤツデ スズカケノキ・アオギリ・ニセアカシア・カナメモチ・フサアカシア モチノキ・マサキ・サンゴジュ・ネムノキ・ハマヒサカキ・ヤマブキ ハギ・ユキヤナギ・サツキ・アジサイ・ハクチョウゲ・ニオイシュロラン
活着の中庸な樹種	アカマツ・クロマツ・ヒマラヤスギ・カイヅカイブキ・イヌマキ・ケヤキ ヤマモモ・アキニレ・ホオノキ・トチノキ・トベラ・クスノキ・シンジュ サルスベリ・ユズリハ・カエデ類・アラカシ・マテバシイ・モッコク カツラ・ヒイラギナンテン・イヌツゲ・ナンキンハゼ
活着の難しい樹種	イチイ・カラマツ・ナギ・モミ・ダイオウショウ・スギ・ヒノキ コウヤマキ・ドイツトウヒ・タイサンボク・オガタマノキ・シラカンバ ゲッケイジュ・ツバキ・ユーカリ・ユリノキ・サクラ類・センダン クスギ・シャリンバイ・ウバメガシ・エニシダ・ジンチョウゲ

(「港湾緑地整備マニュアル」より抜粋)

※ネムノキやアカマツ等は、成木になると移植は難しい。スギ・ツバキ等は、中木程度までは活着しやすい。また、ニオイシュロラン(ドラセナ)は高温期に向かう春から初夏は移植できるが、秋期以降は移動させない方がよい。

5) その他

表 7-23 樹木の根系と耐潤性樹木一覧表

高木類 深根系

樹 種	根系(主根) の大きさ(m)		幹 径 (m)	樹冠幅 (m)
	垂直	水 平		
イチイ(オンコ)	1.5	1.4~1.9	0.25	8~12
イチョウ	1.3	1.7~2.3	0.30	10~20
キハダ	1.3	1.2~1.7	0.22	5
クリ	1.3	1.2~1.7	0.22	12~16
クロマツ	1.8	0.9~1.8	0.25~0.30	7~13
ヒマラヤスギ	1.1	1.9~2.6	0.34~0.35	11~25
ミズナラ	1.4	1.7~2.3	0.24	5~13
モミノキ	2.2	1.6~1.9	0.24~0.28	10~20
ユリノキ	1.7	1.2~1.7	0.22	5~14
☆アベマキ	3.0	1.3~3.8	0.24~0.50	14
☆イチイガシ	1.4	1.8~2.5	0.33	6~12
☆イヌガヤ	3.0	2.8~3.8	0.50	6~9
☆イヌマキ	1.6	2.0~2.7	0.36	7~17
☆イロハモミジ	1.7	1.6~2.2	0.29	5~6
☆カクレミノ	0.8	1.0~1.2	0.12	6~8
☆カシワ	3.0	1.2~3.8	0.32~0.50	5~9
☆カツラ	1.2	1.0~1.5	0.18~0.20	10~21
☆カヤ	1.8	1.0~1.8	0.18~0.30	8~24
☆クスギ	1.3	1.9~2.6	0.34	7~11
☆コウヨウザン	0.9	0.9~1.5	0.26	5~15
☆コナラ	2.1	1.4~2.0	0.26	11~14
☆サワグルミ	2.6	1.9~2.4	0.25~0.32	6~18
☆シイノキ	1.0	1.4~1.9	0.25	4~13
☆シダレヤナギ	1.2	1.3~1.8	0.24	4~11
☆タラヨウ	1.7	1.5~2.1	0.28	6~13
☆ダイオウショウ	2.0	1.4~1.9	0.25	3~9
☆チョウセンゴヨウ	1.0	1.9~2.6	0.34	5~13
☆ツブラジイ	0.6	1.7~2.3	0.30	4~13
☆トチノキ	1.3	1.2~1.7	0.22	7~18
☆トネリコ	1.0	0.9~1.3	0.17	3~9
☆ナギ	3.0	1.7~3.8	0.30~0.50	9~12
☆プラタナス(スズカケノキ)	1.8	1.3~2.3	0.24~0.30	11~21
☆マツ(アカマツ)	1.8	0.9~1.7	0.26~0.30	8~15
☆マテバシイ	0.8	1.2~1.7	0.22	9~18
☆ムクロジ	3.6	2.1~4.5	0.38~0.60	9~18

高木類 深根系

樹 種	根系(主根) の大きさ(m)		幹 径 (m)	樹冠幅 (m)
	垂直	水 平		
☆メタセコイア	1.1	0.6~1.1	0.24	3~7
☆ヤチダモ	2.4	1.3~3.0	0.24~0.40	5~8
☆ラクウショウ	0.8	1.4~2.0	0.26	9~22

高木類 中間系

樹 種	根系(主根) の大きさ(m)		幹 径 (m)	樹冠幅 (m)
	垂直	水 平		
アオギリ	1.5	1.4~1.9	0.24	2~5
ウバメガシ	1.7	1.4~1.8	0.19	3~9
ウメ	0.6	1.1~1.3	0.12	3~5
エンジュ	0.6	1.2~1.6	0.22	9~12
カキノキ	0.8	1.0~1.3	0.16	6~12
カラマツ	1.6	1.1~3.3	0.20~0.44	5~14
クワ(ヤマグワ)	1.1	1.0~1.4	0.18	10~15
ザクロ	1.0	0.6~0.8	0.10	5~6
シラカシ	1.1	1.2~1.7	0.22	9~12
スモモ	0.5	1.5~1.8	0.10	5~6
ソメイヨシノ(サクラ)	1.2	1.1~1.5	0.20	4~8
タブノキ	1.3	1.4~3.8	0.26~0.50	8~13
ヌルデ	0.7	1.3~1.6	0.14	4
ハゼノキ	0.6	1.4~2.0	0.26	8~10
モモ	0.8	1.4~2.0	0.26	3~6
☆イイギリ	0.9	1.0~1.4	0.18	7~9
☆イヌエンジュ	0.8	1.1~1.6	0.22	5~8
☆オニグルミ	1.0	0.7~1.5	0.13~0.20	8~24
☆キリ	1.5	1.2~1.7	0.22	5~8
☆クスノキ	1.5	1.5~2.3	0.28~0.30	9~25
☆コブシ	1.1	1.4~1.8	0.22	7~11
☆サイカチ	0.9	1.3~1.8	0.24	10~15
☆シキミ	1.0	0.7~1.1	0.20	2~3
☆センダン	1.2	1.2~1.8	0.22~0.24	5~20
☆タイサンボク	1.3	2.7~3.6	0.48	10~13
☆チャンチン	2.5	2.8~3.8	0.50	2~8
☆ニセアカシア(アカシヤ)	0.6	1.0~2.4	0.24~0.36	6~15
☆ネムノキ	1.0	1.7~2.2	0.28	6~10
☆バクチノキ	1.0	1.1~1.5	0.20	7~11

高木類 中間系

樹種	根系(主根) の大きさ(m)		幹径 (m)	樹冠幅 (m)
	垂直	水平		
☆ハウノキ	1.0	1.3~2.0	0.24~0.26	9~12
☆モミジ(モミジバフウ)	0.6	1.4~2.0	0.26	5~6
☆ヤマモモ	1.0	1.4~1.6	0.12	4~12

高木類 浅根系

樹種	根系(主根) の大きさ(m)		幹径 (m)	樹冠幅 (m)
	垂直	水平		
カイズカイブキ	1.3	0.6~2.4	0.10~0.32	3~8
カエデ(トウカエデ)	0.9	1.2~1.7	0.22	6~11
カナメモチ	0.6	0.3~1.1	0.15	4~8
カナリーヤシ(フェニックス)	0.6	1.1~1.8	0.38	2~12
カリン	1.0	0.7~1.9	0.12~0.25	6~15
キンモクセイ	0.6	1.2~1.7	0.22	3~7
ケヤキ	4.0	1.1~7.5	0.20~1.00	12~20
ゴンズイ	0.6	0.5~0.7	0.09	1~3
サカキ	0.8	0.4~1.4	0.07~0.19	6~8
ソテツ	0.6	1.5~2.2	0.32	1~11
ツバキ(ヤブツバキ)	0.5	1.0~1.4	0.18	5~8
トウヒ	0.6	1.9~2.6	0.34	13~20
ナナカマド	0.5	0.4~0.8	0.18	5~7
ハナミズキ	0.5	0.7~1.0	0.12	5~10
ヒイラギ	0.5	0.6~1.0	0.18	5~9
ヒノキ	1.0	1.1~2.5	0.24~0.36	7~16
モッコク	0.7	0.7~0.9	0.12	6~17
☆アカシデ	1.0	1.5~2.0	0.24	7~9
☆アカメガシワ	0.8	1.1~1.5	0.20	3~9
☆アキニレ	1.0	1.6~2.1	0.26	6~9
☆アスナロ(ヒバ)	1.3	1.5~2.1	0.28	2~4
☆アメリカヤマナラシ(ポプラ)	0.9	1.9~2.6	0.35	5~7
☆イタリアヤマナラシ(ポプラ)	1.4	2.0~2.7	0.36	5~11
☆イチジク	1.3	0.4~2.4	0.07~0.32	1~4
☆イヌツゲ	0.9	0.5~1.8	0.07~0.60	2~6
☆イヌビワ	0.7	0.7~0.9	0.05	1~3
☆イブキ	2.5	2.0~6.8	0.36~0.90	5~10
☆エゴノキ	0.3	2.0~2.3	0.17	4~5
☆エノキ	1.1	0.6~2.1	0.10~0.28	11~14

高木類 浅根系

樹 種	根系(主根) の大きさ(m)		幹 径 (m)	樹冠幅 (m)
	垂 直	水 平		
☆オオバボダイジュ	2.4	1.1~4.5	0.20~0.60	5~14
☆カロリナポプラ	0.8	1.1~1.4	0.19	4~6
☆ギンドロ	1.9	1.4~3.6	0.26~0.48	12~25
☆クロガネモチ	1.2	1.4~2.0	0.26	4~6
☆コウヤマキ	1.1	1.1~1.5	0.20	2~12
☆コノデガシワ	0.9	1.0~1.4	0.22	2~5
☆コバノトネリコ	1.5	0.9~2.9	0.20	2~12
☆コメツガ	0.6	1.8~2.4	0.32	15~19
☆サザンカ	1.2	1.0~2.2	0.10~0.29	1~4
☆サルスベリ	0.8	1.1~1.5	0.20	5~6
☆サワラ	1.0	1.0~1.7	0.36	8~12
☆サンゴジュ	0.3	0.6~1.0	0.18	3~6
☆シダレザクラ	1.6	2.2~3.0	0.40	5~18
☆シラカバ	0.5	1.5~2.1	0.30	8~13
☆ズミ	0.6	1.7~2.0	0.14	4~5
☆ツガ	1.1	1.5~2.1	0.28	15~23
☆ドロノキ	4.0	5.5~7.5	1.00	9~12
☆ナンキンハゼ	1.2	1.5~2.2	0.36	7~8
☆ネズコ	1.0	1.5~2.1	0.26	5~13
☆ハルニレノキ	0.6	0.9~1.5	0.28	13~21
☆ハンノキ	1.0	0.7~1.2	0.23	9~12
☆ブナ	0.8	1.5~2.3	0.38	9~13
☆ミズキ	0.5	1.2~2.6	0.22~0.35	6~15
☆ムクノキ	0.9	1.2~1.7	0.22	13~18
☆モチノキ	0.6	0.7~1.0	0.16	4~7
☆ヤマナラシ	0.5	1.3~1.8	0.22	4~6
☆ヤマハンノキ	0.6	0.6~1.1	0.24	7~11
☆ヤマボウシ	0.8	1.1~1.5	0.20	3~4
☆ヤマモミジ	0.2	0.5~0.7	0.09	4~8
☆ユーカリ	1.0	1.3~1.8	0.24	5~15
☆ユズ	0.6	0.8~1.0	0.11	2~3
☆ユズリハ	0.9	1.2~1.7	0.22	6~9
キャラボク	0.5	1.0~1.3	0.16	2
キョウチクトウ	0.5	0.4~0.5	0.05	3~6
サンザシ	0.5	0.6~1.0	0.20	1
シャリンバイ	0.6	0.8~1.1	0.14	3~5

低木類 深根系

樹 種	根系(主根) の大きさ(m)		幹 径 (m)	樹冠幅 (m)
	垂直	水 平		
タラノキ	1.1	0.9~1.0	0.07	0.6~1.2
チャノキ	0.7	0.4~0.5	0.04	2.1~4.2
ノイバラ	0.7	0.4~0.5	0.01~0.03	1.4~4.1
ヒサカキ	0.5	0.4~0.6	0.10	2~4
☆アジサイ	0.2	0.2~0.3	0.03	1.3~2.6
☆ウツギ	0.7	0.5~0.6	0.05	1~2
☆ガクアジサイ	0.3	0.2~0.3	0.03	1~2
☆ニワトコ	0.6	0.8~1.0	0.07	1.8~2.7
☆バイカウツギ	0.5	0.4~0.5	0.02~0.03	2
☆ボケ	0.2	0.1~0.2	0.02	1~2
☆ヤマアジサイ	0.3	0.2~0.3	0.02~0.03	0.36~0.86

低木類 中間系

樹 種	根系(主根) の大きさ(m)		幹 径 (m)	樹冠幅 (m)
	垂直	水 平		
エニシダ	1.1	0.4~0.6	0.08	0.5~1.5
ニシキギ	0.2	0.2~0.3	0.04	1~2
ハギ(ヤマハギ)	0.2	0.4~0.5	0.03	1~2
ハクチョウゲ	0.3	0.3~0.4	0.005	0.3~0.5
ホソバヒイラギナンテン	0.4	0.3~0.4	0.02~0.03	0.8~1.6
ボックスウッド	0.5	0.3~0.8	0.05~0.10	0.3~0.5
ミヤマトベラ	0.2	0.1~0.2	0.01	0.3
メギ	0.7	0.2~0.3	0.02	1~2
☆カンボク	0.2	0.1~0.3	0.02~0.04	0.5~3
☆クチナシ	0.5	0.2~0.6	0.20	0.5~1.8
☆ナンテン	0.3	0.2~0.3	0.02	1.6
☆ハクサンボク	0.4	0.3~0.5	0.08	3~5
☆ハンバミ	0.5	0.2~0.8	0.03~0.10	0.5~3.0
☆ヒイラギナンテン	0.3	0.2~0.3	0.03	0.5~1.5
☆フヨウ	0.1	0.1~0.2	0.04	1~3
☆マサキ	0.7	0.5~0.7	0.12	1.4~3.5
☆マユミ	0.3	0.4~0.5	0.03	1~2
☆ムクゲ	0.6	0.6~0.8	0.12	1~4
☆ヤツデ	0.5	0.4~0.5	0.03	~2.1
☆ヤブデマリ	0.7	0.3~0.6	0.02~0.05	2~4

低木類 浅根系

樹 種	根系(主根) の大きさ(m)		幹 径 (m)	樹冠幅 (m)
	垂直	水 平		
アオイ	0.7	0.1~0.4	0.02~0.05	0.3~1.5
アセビ	0.5	0.2~0.4	0.03~0.05	2.7~8.0
ウグイスカグラ	0.3	0.3~0.4	0.02~0.03	0.8~1.8
ウメモドキ	0.3	0.6~0.7	0.07	2.3~5.8
カラタチノキ	0.7	0.7~1.1	0.18	~4.0
キンシバイ	0.2	0.2~0.3	0.01	0.5~1.0
コデマリ	0.3	0.1~0.2	0.02	1.5~3.0
サツキ(サツキツツジ)	0.2	0.2~0.3	0.03	2
シモツケ	0.1	0.1~0.2	0.02~0.03	0.8~1.1
ツゲ	0.3	0.2~0.3	0.04	2
ネズミモチ	0.5	0.8~1.0	0.08	2.0~2.5
ハナヅノツクバネウツギ (アベリア)	0.2	0.1~0.2	0.02	0.5~1.4
マンリョウ	0.3	0.1~0.2	0.008	0.1~0.3
ユキヤナギ	0.3	0.3~0.4	0.01~0.02	1.5~2.2
レンギョ	0.4	0.7~0.8	0.01	1.2~2.4
☆アオキ	0.3	0.2~0.3	0.04	0.8~1.2
☆アキグミ	0.4	0.9~1.0	0.03~0.10	0.3~1.2
☆イボタノキ	0.5	0.7~0.8	0.02~0.03	2.8~8.4
☆コクチナシ	0.2	0.2~0.4	0.04~0.05	0.5~1.8
☆サンショウ	0.2	0.1~0.2	0.04	~2.3
☆ジンチョウゲ	0.3	0.3~0.4	0.04	0.6~1.2
☆タニウツギ	0.5	0.5~0.6	0.04	0.8~1.6
☆トベラ	0.6	0.1~0.2	0.01	3
☆ドウダンツツジ	0.3	0.3~0.4	0.03	1.3~1.9
☆ナギイカダ	0.1	0.3~0.5	0.005	~1.1
☆ナツグミ	0.4	0.8~0.9	0.02	2.0~4.0
☆ナワシログミ	0.4	0.4~0.5	0.04~0.05	2.75
☆ヒイラギモクセイ	0.6	0.8~1.2	0.16	2.7~4.9
☆ミツバツツジ	0.3	0.2~0.3	0.03~0.04	1.6~2.4
☆ヤマブキ	0.1	0.1~0.4	.003~.007	1.0~3.0
☆レンゲツツジ	0.3	0.3~0.4	0.04	0.7~1.4
☆ロウバイ	0.1	0.1~0.2	0.02	1.4~3.5

(「河川等の緑化技術基準(案)」より抜粋)

注) ☆印は耐潤性樹木を表す。表中の数字は参考数値である。

水平方向の根系の大きさは、根幹からの距離を表す。幹径は胸高直径である。

表 7-24 肥料木

科 名	高 木	低 木	つるもの
マ メ 科	*ネムノキ サイカチ フジキ イヌエンジュ *モリシマアカシア *フサアカシア *メラノキシロン *ニセアカシア ハナズホウ	ニワフジ *エニシダ *ヤマハギ ムレスズメ *イタチハギ ハナアカシア *メドハギ *クローバー(赤・白) *ルピナス(草本)	フジ ナツフジ *グミ(草本)
カバノキ科	*ハンノキ *ヤマハンノキ *ヤシャブシ *オオバヤシャブシ		
グミ科		ナツグミ *アキグミ ナワシログミ マルバツグミ	ツルグミ
ヤマモモ科	*ヤマモモ		
モクマオウ科	モクマオウ		
ドクウツギ科		ドクウツギ	
マツ科	イヌマキ コウヤマキ ナギ		
ソテツ科	ソテツ		

※ *印が一般的に肥料木として使用されているもの
 その他は根瘤菌のつく樹木であり、肥料木としての効果がある
 (「植栽の理論と技術」より抜粋)

表 7-25 ツル性植物の特性一覧表

区 分		植 物 名		オオイタビカズラ	ナツヅタ	ヘデラヘリッククス	カナリエンシスヘデラ	ツルマサキ	テイカカズラ	スイカズラ	ツルニチニチソウ	備 考	
		性 状	常 緑	半 常 緑	落 葉	陰	半 陰	陽	巻 ツ ル	吸 着	下 垂		観 賞 部 位
性 状	常 緑	○		○	○	○	○	○	○	○		○該当する △ある程度該当する	
	半 常 緑								○				
	落 葉		○										
日 照 条 件	陰			△	△								
	半 陰	△	△	○	○	△	○	△	○	○			
	陽	○	○	△	△	○	○	○	○	○			
緑 化 方 式	巻 ツ ル		△	○	△	△	△	○					○該当する
	吸 着	○	○	○	○	○	○						△ある程度該当する
	下 垂			○	○		△	△	○				
観 賞 部 位	花								○	○			△ある程度該当する
	葉	○	○	○	○	○	○			○			
	実						○						
用 途	地 被			○	○	○	○	○	○	○			
	の り 面			○	○				○	○			
	露 頭 岩	△	△	○	○				○				
	石 積	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	石 塀	○	○	○	○	○	○	○	○				
	建 物 壁 面	○	○	○	○				○				
	コンクリート擁壁	○	○	○	○				○				
	遮 音 壁	○	○	○	○				○				
	仕 立 物			○	○			○	○				
モルタルのり面	○	○	○	○				○					
補 助 材	資 材 な し	◎	◎	○	△	○	○	○	×	×		◎十分登はんする ○登はんする △ある程度登はんする ×登はんしない	
	へ ゴ 取 付	◎	◎	◎	○	◎	◎	×	×	×			
	ネ ッ ト	△	△	○	○	○	△	◎	×	×			
	鉄 線 の 格 子	△	△	○	○	○	×	◎	×	×			
	柵 ポ ー ル	×	×	△	△	×	×	◎	×	×			

6) 緑化場所別

① 生垣

a) 選定の留意点

- ・ 美しい枝葉を有するもの。
- ・ 枝や葉が細密で、繁茂するもの。
- ・ 萌芽力が大きく、下枝を永く保つもの。
- ・ 刈り込みによく耐え、樹勢が衰えないもの。
- ・ 病虫害の少ないもの。

b) 外垣用

敷地の周囲に、境界をかねて使われ、人の視線、立入を防止する生垣である。

常緑：イチイ、カイズカイブキ、サワラ、スギ、イヌマキ、ラカンマキ、アラカシ、イヌツゲ、カナメモチ、サカキ、サザンカ、サンゴジュ、シラカシ、ツバキ、ネズミモチ、トウネズミモチ、ヒイラギモクセイ、ピラカンサ、マサキ、モチノキ、キョウチクトウ

落葉：イボタノキ、ドウダンツツジ、ムクゲ

c) 高垣用

敷地の周辺の一部に防風、防潮、防火、隠蔽用として植えられ、普通常緑のものを使用し、高さは4～6m程度に仕立てられる。

クロマツ、スギ、イヌマキ、ラカンマキ、アラカシ、サンゴジュ、スダジイ、シラカシ、ツバキ、モチノキ

注)スギ、クロマツは引火性が強いので隣接地との関係に注意すること。

d) 境栽垣用

敷地の中での区切りのための割合低い生垣である。

常緑：キャラボク、カンツバキ、イヌツゲ、ウバメガシ、クサツゲ、サツキツツジ、ジンチョウゲ、チャノキ、ツツジ、トベラ、スギ、ナワシログミ、ハクチョウゲ、ヒサカキ、ピラカンサ、マサキ、イスノキ、サザンカ、カナメモチ、カイズカイブキ、ネズミモチ

落葉：イボタノキ、ドウダンツツジ、ボケ、ユキヤナギ

注)カイズカイブキ等のシンパク類は、赤星病の中間寄主になるのでナシの栽培地での使用に注意すること。

②のり面

表 7-26 使用樹種選定の例

区分	導入区分	苗木を植えるとき	草と木の種を混播するとき
	のり面の位置		
切土	最下段のり面 植樹小段、普通小段	ヤマハギ、エニシダ、イタチハギ、 ウツギ、ツバキ、サザンカ、ツツ ジ、ツル性植物等	ヤマハギ、エニシ ダ、イタチハギ、 メドハギ
盛土	最上段のり面 植樹小段、普通小段	ヤマハギ、エニシダ、イタチハギ、 ウツギ、ツル性植物等	
切土	2段目以上ののり面 植樹小段、普通小段	アカマツ、クロマツ、オオバヤシ ャブシ、ヤマモモ、ニセアカシア、 ヤマハギ、ウバメガシ等	ヤマハギ、エニシ ダ、イタチハギ、 メドハギニセアカ シア、クロマツ、 アカマツ
盛土	2段目以下ののり面 植樹小段、普通小段	モッコク、ヒサカキ、キョウチク トウ等	
切・盛土	構造物前面	クロマツ、ウバメガシ、ヤマモモ、 キョウチクトウ、メラノキシロン アカシア、ツル性植物等	

表 7-27 立地条件によるのり面用植物選択一覧表

立地条件		適用植物
施工地域による 選択	暖地	ウィーピングラブグラス、バミューダグラス、ハイブリッドバミュー ダグラス、バヒアグラス、ローズグラス、セントオーガスチングラス、 *アカシヤ類、ヨモギ、ススキ、ケンタッキーブルーグラス、ノシバ
	寒冷地	ケンタッキーブルーグラス、クリーピングレッドフェスク、オーチャ ードグラス、チモシーケンタッキー31フェスク、レッドトップ、*ク ローバー、ライグラス類、*ハギ類、ペントグラス類、*ハンノキ類、 *ヤシヤブシ類、ウツギ類、ヨモギ
	湧水地	リードカナリーグラス、ヨシ、マコモ、レッドトップ、*クローバー
	海岸地 (飛砂防止)	ウィーピングラブグラス、バミューダグラス、*ハマエンドウ、アキ グミ、*エニシダ、*アカシヤ類、*イタチハギ、ススキ、ノシバ
	北向の 日陰地	オーチャードグラス、*クローバー、ケンタッキー31フェスク、ケン タッキーブルーグラス
る期施 選に工 択よ時	夏型	ウィーピングラブグラス、バミューダグラス、ハイブリッドバミュー ダグラス、ノシバ、セントオーガスチングラス、コウライシバ
	冬型	ケンタッキーブルーグラス、クリーピングレッドフェスク、オーチャ ードグラス、チモシーケンタッキー31フェスク、レッドトップ、*クロー バー、ライグラス類、ペントグラス類
土質による 選択	砂質土	ウィーピングラブグラス、クリーピングレッドフェスク、ペントグラ ス類、バミューダグラス、*エニシダ、*イタチハギ、*メドハギ、* ハンノキ類、*ヤシヤブシ類、ヨモギ、イタドリ、ススキ
	粘性土	ケンタッキー31フェスク、オーチャードグラス、*クズ、ヨモギ、イ タドリ、ススキ
	乾燥地	ウィーピングラブグラス、クリーピングレッドフェスク、サンドグラ ス、バミューダグラス、ハイブリッドバミューダグラス、*イタチハ ギ、*バースフットトレフォイル、*メドハギ、*ハンノキ類、*ヤシヤ ブシ類、ススキ、シーフェスク、ダリスグラス、ケンタッキー31フ ェスク、バヒアグラス、スムーズプロームグラス、*ルーサン、メド ーフェスク
	湿地	ケンタッキー31フェスク、レッドトップ、オーチャードグラス、*ク ローバー、リードカナリーグラス
	酸性土 (ph5)	ヨシ、スゲ類、ヌマガヤ、ケンタッキー31フェスク、バミューダグ ラス、リードカナリーグラス

(「造園緑化材の知識」より抜粋)

※*印は肥料木(草)であり、土壌の肥沃化を促進する。

③プランターボックス

表 7-28 季節別の樹種一覧

季節	1.2年生草本	多年生草本		低木	
		宿根性	球根性	常緑	落葉
3～4月	デージー パンジー ヤグルマギク	アルメリア シバザクラ サクラソウ プリムラ ポリアンタ ミヤコワスレ	アネモネ クロッカス スイセン キズイセン チューリップ ヒヤシンス ムスカリ	アセビ クリシマツツジ シャリンバイ ジンチョウゲ ハクサンボク ホソバアカメギ リュウキュウツツジ ヒラドツツジ	コデマリ シロヤマブキ トサミズキ ハナカイドウ ヒメシデコブシ ヒュウガミズキ ヤブデマリ ヤマブキ レンゲツツジ
5～6月	キンギョソウ キンセンカ, キ ンレンカ スイトピー ツクシアザミ ヒナゲシ ペゴニア ペチュニア マツバボタン マリーゴールド	ガーベラ ミヤコワスレ アルメリア シバザクラ シャスター デージー セキチク マツバギク	アネモネ カンナ シラー ダリア ラナキュラス	クリシマツツジ キンシバイ ゲッケイジュ コクチナシ サツキ トウオガタマノキ ナワシログミー実 ハクチョウゲ ビョウヤナギ	アジサイ ウツギ エニシダ コバノズイナ シモツケ ドウダンツツジ バラ
7～8月	アゲラータム キンギョソウ キンレンカ サルビア センニチソウ ツキミソウ トレニア ニチニチソウ ヒャクニチソウ ペチュニア マツバボタン マリーゴールド	ガーベラ ミヤコワスレ マツバギク	カンナ ダリア タマスダレ ハマユウ	キンシバイ コクチナシ ツルニチニチソウ アベリア ヒイラギナンテン ビョウヤナギ ランタナ	アジサイ ウツギ エニシダ シモツケ バラ
9～11月	アキランサス アゲラータム クッションマム サルビア ペゴニア ペチュニア マリーゴールド	キク ガーベラ	カンナ ダリア ヒガンバナ	コバノセンナ サザンカ センリョウー実 タチバナモドキー実 ナンテンー実 アベリア マンリョウー実 ムベー実 ヤブコウジー実 ランタナ	ザクロー実 ハギ フヨウ ムクゲ ムラサキシキブー実
12～2月	シロタエギク ハボタン パンジー		スイセン	イワナンテンー葉 ギンヨウシャリントウー実 サザンカ タチバナモドキー実 ヒイラギナンテンー葉 マンリョウー実 ヤブコウジー実	ロウバイ ポインセチヤー葉 ホソバアカメギー葉

表 7-29 その他、プランターボックスに使用される中・低木、地被類

中木	低木	地被(ツル)類
コノデガシワ	タマイブキ	キズタ (ヘデラ類)
サンゴジュ	トベラ	テイカカズラ
ヒサカキ	ハイネズ	
モッコク	ヒメツゲ	
カイズカイブキ	ハマヒサカキ	

7)

7) 樹種特性一覧表

緑化用樹木特性一覧表(樹種は鳥取県内で使用可能なものを選択する)

表 7-30 常緑針葉樹

和名		アカマツ	イチイ	イヌマキ	エゾマツ	カイヅカイブキ	カヤ	キヤラボク	クロマツ	コウヤマキ	コノテガシワ	ゴヨウマツ	サワラ	スギ	チャボヒバ	ドイツトウヒ	トウヒ	ネズミサシ	ヒノキ	ヒマラヤスギ	モミ	
科名		マツ科	イチイ科	マキ科	マツ科	ヒノキ科	イチイ科	イチイ科	マツ科	コウヤマキ科	ヒノキ科	マツ科	ヒノキ科	スギ科	ヒノキ科	マツ科	マツ科	ヒノキ科	ヒノキ科	マツ科	マツ科	
樹種形態	高木	○	○	○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○		○	○	○	
	中木					○				○												
	低木						○			○								○				
適応地域	海岸部	砂地		○		○			○										○			
	平野部	火山灰		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		真砂土	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	山間部	中山間	○	○			○	○		○	○	○				○	○		○			○
		垂高山				○		○														
寒冷地		○		○		○			○	○												
樹木の特性	耐陰				○	○	○	○		○	○		○			○	○				○	
	好陽		○	○	○	○	○		○	○	○	○			○				○		○	
	耐乾湿	耐乾	○		○		○			○		○							○	○		
		耐湿			○	○					○		○	○			○					○
	移植	難		○		○		○		○		○	○	○		○		○		○		○
		易			○		○		○							○		○		○		○
	成長	速	○		○		○		○		○		○	○		○		○		○	○	
		遅		○		○		○	○		○		○			○		○				○
	耐風性	風強		○	○		○	○	○										○			
		風弱	○			○				○	○		○	○		○				○	○	
	耐火性	火強			○					○												
		火弱	○												○				○	○		
	耐煙害	煙強			○		○														○	
		煙弱	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○
	耐潮性	I					○		○													
II											○	○										
III				○																	○	
内花		○	○		○		○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○		○	
観賞	実	○	○	○			○	○			○							○				
	実葉										○	○			○							
	葉										○	○										
用途		主木	主木・生垣	主木・刈込・生垣	主木	主木・列植・生垣	主木・刈込	刈込・根締・地被	主木・植込・列植	主木・列植	列植・生垣	主木	主木・植込・生垣	主木・列植・生垣	主木・植込・生垣	主木	主木・植込	地被	主木・刈込・生垣	主木・列植・生垣	主木・植込	
繁殖法		実	実・挿	実・挿	実	挿	実	挿・取	実・接	実	実・挿	実	実・挿	実・挿	実・挿	実	実	実	実・挿	実・挿	実	

表 7-31 落葉針葉樹

和名		イチョウ	カラマツ	メタセコイア	ラクウショウ
科名		イチヨウ科	マツ科	スギ科	スギ科
樹種形態		高木	○	○	○
		中木			
		低木			
適応地域	海岸部	砂地			
	平野部	火山灰	○		○
		真砂土	○		○
	山間部	中山間		○	○
		亜高山		○	
	寒冷地		○	○	
樹木の特性	耐陰				
	好陽		○	○	○
	耐乾湿	耐乾	○	○	
		耐湿			○
	移植	難		○	
		易	○		○
	成長	速	○	○	○
		遅			
	耐風性	風強	○		
		風弱		○	
	耐火性	火強	○		
		火弱			
	耐煙害	煙強	○		
		煙弱		○	○
	耐潮性	I			
		II			
III		○			
内			○	○	
観賞	花				
	実	○			
	葉	○	○	○	
用途		主木・街路樹	主木・刈込	主木・列植	主木・列植
繁殖法		実・挿	実	実・挿	実

表 7-32 常緑広葉樹(1)

和名		イスノキ	イヌツゲ	ウバメガシ	オリーブノキ	カシ類	クスノキ	クロガネモチ	ゲッケイジュ	サカキ	サザンカ	サンゴジュ	シイノキ	セイヨウヒイラギ	ソヨゴ	タイサンボク	タブノキ
科名		マンサク科	モチノキ科	ブナ科	モクセイ科	ブナ科	クスノキ科	クスノキ科	クスノキ科	ツバキ科	ツバキ科	スイカズラ科	ブナ科	モチノキ科	モチノキ科	モクレン科	クスノキ科
樹種形態		高木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		中木	○	○	○				○	○	○	○		○			
		低木		○							○						
適応地域	海岸部	砂地		○								○					
	平野部	火山灰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		真砂土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	山間部	中山間		○			○				○	○		○	○		
		亜高山															
寒冷地			○														
樹木の特性	耐陰			○				○	○	○	○	○					○
	好陽		○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○	○
	耐乾湿	耐乾	○		○	○					○					○	
		耐湿		○					○			○	○				
	移植	難				○	○			○	○		○				○
		易	○	○	○			○	○			○	○	○	○	○	
	成長	速				○		○		○	○	○	○	○	○	○	○
		遅	○	○	○		○		○								
	耐風性	風強	○		○		○	○	○		○	○	○				
		風弱														○	
	耐火性	火強	○				○		○		○	○	○			○	○
		火弱															
	耐煙害	煙強	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		煙弱															
耐潮性	I																
	II			○	○							○					
	III	○	○				○	○	○		○					○	
	内					○				○			○	○	○		
観賞	花									○	○	○				○	
	実		○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
	葉				○		○						○				
用途		主木・植込・生垣	刈込・生垣	植込・生垣	徳用樹・植込	植込・生垣	主木・列植・街路樹	主木・列植	主木・列植	主木・神木	植込・生垣	植込・生垣	主木・植込	植込・生垣	主木・植込	主木・植込	主木・植込
繁殖法		実・挿	実・挿	実・挿	接・実	実	実	実・挿・接	株・実	実	実・挿	挿・実	実	実・挿・接	実	実・挿	実

表 7-33 常緑広葉樹(2)

和名		タラヨウ	トキワギョリュウ	ヒイラギ	ビワ	マテバシイ	モクセイ	モチノキ	モッコク	ヤマツバキ	ヤブニツケイ	ヤマモモ	ユーカリノキ	アオキ	アセビ	イボタノキ	クサツゲ	クチナシ	
科名		モチノキ科	モクマオウ科	モクセイ科	バラ科	ブナ科	モクセイ科	モチノキ科	ツバキ科	ツバキ科	クスノキ科	ヤマモモ科	フトモモ科	ミズキ科	シヤクナゲ科	モクセイ科	ツゲ科	アカネ科	
樹種形態		高木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
		中木			○			○	○	○	○								
		低木												○	○	○	○	○	
適応地域	海岸部	砂地		○		○		○	○	○				○		○		○	
	平野部	火山灰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		真砂土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	山間部	中山間			○		○	○		○	○			○	○				
		亜高山												○	○				
寒冷地								○					○	○	○				
樹木の特性	耐陰						○	○	○	○			○					○	
	好陽			○	○		○	○				○	○		○	○	○		
	耐乾湿	耐乾		○								○	○		○	○			
		耐湿					○	○	○				○					○	
	移植	難	○			○	○			○	○	○	○						
		易		○	○			○	○					○	○	○	○	○	
	成長	速		○		○	○				○		○	○		○	○	○	
		遅	○		○			○	○	○	○	○			○				
	耐風性	風強		○			○				○	○	○						
		風弱											○						
	耐火性	火強	○		○		○		○	○	○		○		○	○			
		火弱																	
	耐煙害	煙強	○		○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○
		煙弱																	
	耐潮性	I		○															
II						○				○	○		○	○		○			
III		○						○	○			○					○		
内				○	○		○								○		○		
観賞	花						○			○					○				
	実	○		○	○			○	○	○	○		○		○		○		
	葉	○	○						○										
用途		主木	植込・列植	主木・植込・生垣	植込	主木・植込・列植	主木・植込	主木・植込	主木	主木・刈込	植込	主木	主木・植込・街路	植込	植込・根締	植込・刈込・生垣	境栽・地被	根締・地被	
繁殖法		実	実	挿	実・接	実	株	挿・実	実	実・挿	実	実・接	実	実・挿	実・株・挿	実・挿	挿・株	挿・株・実	

表 7-34 常緑広葉樹 (3)

和名		サツキツツジ	シヤクナゲ	シヤリンバイ	ジンチョウゲ	センリョウ	タチバナモドキ	ツゲ	ツツジ類	ナンテン	ハクサンボク	ハクチョウゲ	ハマヒサカキ	ヒイラギナンテン	ヒサカキ	マサキ	ヤツデ	ヤブコウジ	
科名		ツツジ科	シヤクナゲ科	バラ科	ジンチョウゲ科	センリョウ科	バラ科	ツゲ科	シヤクナゲ科	メギ科	スイカズラ科	アカネ科	ツバキ科	メギ科	ツバキ科	ニシキギ科	ウコギ科	ヤブコウジ科	
樹種形態	高木																		
	中木			○									○		○	○	○		
	低木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
適応地域	海岸部	砂地		○			○						○			○			
	平野部	火山灰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		真砂土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	山間部	中山間	○	○		○			○	○	○			○	○	○		○	
		亜高山		○					○	○									
	寒冷地		○		○			○	○	○					○				
樹木の特性	耐陰	○	○		○	○		○		○				○	○	○	○	○	
	好陽	○		○			○		○	○	○	○	○	○	○	○			
	耐乾湿	耐乾			○					○						○			
		耐湿				○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○
	移植	難		○		○	○						○		○				
		易	○		○		○		○	○	○	○	○		○		○	○	○
	成長	速	○		○	○	○		○		○	○		○		○			○
		遅		○		○			○		○			○		○		○	○
	耐風性	風強										○					○		
		風弱																	
	耐火性	火強			○	○							○		○		○	○	
		火弱																	
	耐煙害	煙強	○		○	○			○	○				○		○	○	○	
		煙弱																	
	耐潮性	I			○									○			○		
II					○		○							○			○		
III								○			○	○							
内		○	○			○		○	○					○				○	
観賞	花	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○			○	○	
	実			○		○	○			○	○		○	○	○	○	○	○	
	葉	○								○		○		○	○	○	○	○	
用途		植込・根締・地被	植込	植込・根締・地被	根締・地被	根締	根締・生垣	刈込・根締・生垣	植込・地被	植込・根締	根締・地被	植込・地被	刈込・根締・地被	根締・植込	根締・刈込・地被	植込・生垣	植込・根締	根締・地被	
繁殖法		挿・実	実	実・挿	挿	実・挿	実・挿	実・挿	実・挿	挿・株・実	挿・実	挿	実	株・挿・実	実	実・挿	挿・株・実	実・株	

表 7-35 落葉広葉樹(1)

和名		アキニレ	アベマキ	ウメ	エゴノキ	エノキ	エンジュ	オオシマザクラ	カエデ類	キンドロ	クヌギ	クリソキ	ケヤキ	コナラ	コブシ	サトザクラ	サルスベリ	
科名		ニレ科	ブナ科	バラ科	エゴノキ科	ニレ科	マメ科	バラ科	カエデ科	ヤナギ科	ブナ科	ブナ科	ニレ科	ブナ科	モクレン科	バラ科	ミソハギ科	
樹種形態		高木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		中木																
		低木																
適応地域	海岸部	砂地					○	○										
	平野部	火山灰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		真砂土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	山間部	中山間	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	
		亜高山	○						○		○			○	○			
寒冷地				○		○		○	○	○	○		○	○		○		
樹木の特性	耐陰													○				
	好陽	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	
	耐乾湿	耐乾			○		○		○							○		
		耐湿	○				○	○		○	○	○				○		
	移植	難		○		○		○			○				○			
		易	○		○		○		○	○			○	○		○	○	
	成長	速		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		遅	○					○									○	
	耐風性	風強	○	○			○	○			○		○	○	○			
		風弱								○	○						○	
	耐火性	火強																
		火弱																
	耐煙害	煙強	○			○	○	○							○			
		煙弱			○				○	○	○			○		○	○	
耐潮性	I																	
	II					○	○											
	III	○		○				○			○			○	○	○		
	内		○		○			○	○		○		○					
観賞	花			○	○		○	○							○	○	○	
	実	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○					
	葉	○			○	○		○	○			○	○					
用途		主木・列植	植込	主木	植込	主木・列植	主木・植込・植込・街路	主木・植込・列植	主木・植込	植込	主木・植込	果樹	主木・列植・街路	主木・植込	列植・植込	主木・植込・列植	主木・植込	
繁殖法		実	実	接・実・挿	実	実	実・挿	実・接	実	挿	実	実・接	実	実	実	接	実・挿	

表 7-36 落葉広葉樹(2)

和名		シナサワグルミ	シダレヤナギ	シヤラ	シラカンバ	シンジュ	センダン	ソメイヨシノ	トウカエデ	トチノキ	ナナカマド	ナンキンハゼ	ニセアカシア	ネムノキ	ハクウンボク	ハナカイドウ	ハナズオウ	
科名		クルミ科	ヤナギ科	ツバキ科	カバノキ科	ニガキ科	センダン科	バラ科	カエデ科	トチノキ科	バラ科	トウダイグサ科	マメ科	マメ科	エゴノキ科	イバラ科	マメ科	
樹種形態	高木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	中木										○					○	○	
	低木																	
適応地域	海岸部	砂地	○	○			○	○					○	○				
	平野部	火山灰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		真砂土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	山間部	中山間		○	○			○	○	○	○				○	○	○	
		亜高山			○	○				○	○	○						
寒冷地			○					○	○	○								
樹木の特性	耐陰		○															
	好陽			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	耐乾湿	耐乾				○		○	○			○		○			○	○
		耐湿	○	○			○				○		○		○			○
	移植	難	○		○	○		○	○		○	○		○	○			
		易		○			○			○			○	○			○	○
	成長	速	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○
		遅										○					○	
	耐風性	風強	○		○		○				○	○		○	○			
		風弱				○			○	○								
	耐火性	火強						○										
		火弱																
	耐煙害	煙強	○	○			○	○		○				○				
煙弱				○	○			○		○	○	○		○	○		○	
耐潮性	I												○	○				
	II																	
	III	○				○	○											
	内		○	○	○			○	○	○	○	○			○	○	○	
観賞	花			○			○	○			○		○	○	○	○	○	
	実	○				○	○		○	○	○	○		○	○			
	葉			○	○		○		○	○	○	○		○				
用途		植込・街路樹	植込・街路樹	主木・植込	植込・列植	主木・植込・街路	主木・植込・列植	主木・植込・列植	主木・植込・街路	主木・街路樹	植込・街路樹	植込・街路樹	植込・街路樹	植込・街路樹	主木・植込	主木	主木・植込	
繁殖法		実	挿	実	実	実・株	実	接	実・挿	実・接	実・挿	実	株・実・挿	実	実	実・接	実	

表 7-37 落葉広葉樹(3)

和名		ハナミズキ	ハルニレ	フウ(アメリカ等)	プラタナス	ポプラ	ミズキ	ムクノキ	モクレン	ヤマザクラ	ユリノキ	アジサイ	アベリア	ウツギ	キンシバイ	グミ類	ニデマリ	
科名		ミズキ科	ニレ科	マンサク科	スズカケノキ科	ヤナギ科	ミズキ科	ニレ科	モクレン科	バラ科	モクレン科	ユキノシタ科	スイカズラ科	ユキノシタ科	オトギリソウ科	グミ科	バラ科	
樹種形態	高木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
	中木	○					○		○					○		○		
	低木											○	○	○	○	○	○	
適応地域	海岸部					○						○	○	○	○	○	○	
	平野部	火山灰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		真砂土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	山間部	中山間		○			○	○	○	○		○		○		○	○	
		亜高山						○						○				
寒冷地					○	○							○			○		
樹木の特性	耐陰											○						
	好陽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	耐乾湿	耐乾								○							○	
		耐湿	○			○		○	○			○		○	○			
	移植	難	○						○		○							
		易		○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○
	成長	速	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○
		遅								○								
	耐風性	風強		○					○						○		○	○
		風弱	○			○	○					○						
	耐火性	火強																
		火弱																
	耐煙害	煙強		○	○	○	○	○				○		○	○	○	○	
		煙弱								○	○		○					
耐潮性	I															○		
	II							○				○						
	III				○	○	○				○		○	○	○			
	内	○	○	○					○	○							○	
観賞	花	○					○		○	○		○	○	○	○	○	○	
	実	○	○		○		○	○		○						○		
	葉	○	○	○	○	○					○		○		○			
用途		主木・列植	植込・列植	街路樹・緑陰樹	主木・植込・街路	植込・列植	植込・緑陰	主木・植込	主木・植込	主木・植込・列植	主木・街路樹	植込・根締	植込・地被	植込	植込・根締	植込・地被	植込・根締	
繁殖法		実・接	実	実	挿・実	挿	実	実	接・実	実・挿	実	挿・株	挿	実・挿	挿・株・実	実・挿	株・挿・実	

表 7-38 落葉広葉樹 (4)

和名		ザクロ	トサミズキ	ニシキギ	ハギ	ハマナス	ハマボウ	ヒユウガミズキ	フヨウ	ムクゲ	ムラサキハシドイ	メギ	ヤマブキ	ユキヤナギ	レンギョウ		
科名		ザクロ科	マンサク科	ニシキギ科	マメ科	イバラ科	アオイ科	マンサク科	アオイ科	アオイ科	モクセイ科	メギ科	バラ科	バラ科	モクセイ科		
樹種形態		高木															
		中木	○		○				○	○	○						
		低木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
適応地域	海岸部	砂地				○	○			○			○	○	○	○	
	平野部	火山灰	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
		真砂土	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	山間部	中山間	○	○	○					○	○	○	○	○	○	○	
		亜高山				○											
寒冷地				○	○				○		○	○	○	○			
樹木の特性	耐陰											○					
	好陽		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	耐乾湿	耐乾	○			○	○	○			○						
		耐湿								○				○			
	移植	難						○									
		易	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	成長	速		○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○	
		遅	○										○				
	耐風性	風強		○		○	○	○	○						○		
		風弱															
	耐火性	火強															
		火弱							○	○							
	耐煙害	煙強				○	○			○	○		○				
		煙弱			○			○				○			○	○	
	耐潮性	I					○	○									
II										○			○				
III					○												
内		○	○	○				○	○		○				○		
観賞	花	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
	実	○		○								○					
	葉	○	○	○								○		○			
用途		主木・植込	列植・根締	植込・根締	根締・植込・地被	植込・地被	植込	植込・根締	植込	根締・植込・生垣	植込	根締・生垣・地被	植込・地被	根締・地被	植込・地被		
繁殖法		実・挿	実・挿・株	実・挿	実・株・挿	実・接・株	実・挿	実・接・株	株・実・挿	挿・株・実	挿・株・実	株・実	実・株	実・挿・株	挿		

表 7-39 特殊樹木

和名		アケビ	イタビカズラ	イトラン	キヅダ	ササ類	サネカズラ	スイカズラ	ソテツ	タケ類	ツルウメモドキ	テイカカズラ	ナツツタ	ノウゼンカズラ	バショウ	フジ	ムベ	ヤシ類	リュウゼツラン	
科名		アケビ科	クワ科	ユリ科	ウロギ科	イネ科	モクレン科	スイカズラ科	ソテツ科	イネ科	ニシシギ科	キョウチクトウ科	ブドウ科	ノウゼンカズラ科	バショウ科	マメ科	アケビ科	ヤシ科	ヒガンバナ科	
樹種形態	高木								○	○					○			○		
	低木			○		○							○					○	○	
	特殊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
適応地域	海岸部	砂地		○	○		○		○					○					○	
	平野部	火山灰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		真砂土	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	山間部	中山間	○				○		○				○	○				○		
		亜高山					○													
寒冷地					○							○								
樹木の特性	耐陰				○		○		○	○		○								
	好陽			○		○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	
	耐乾湿	耐乾			○					○									○	○
		耐湿				○	○				○					○				
	移植	難									○									
		易	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	成長	速	○					○	○			○		○	○	○	○	○		
		遅		○	○	○	○			○			○						○	○
	耐風性	風強		○	○					○										○
		風弱				○		○	○							○				○
	耐火性	火強			○					○										○
		火弱																		
	耐煙害	煙強		○	○	○	○			○								○	○	○
		煙弱									○									
	耐潮性	I																		
II				○			○												○	
III		○			○			○	○		○			○		○	○	○		
内			○			○				○			○		○					
観賞	花			○				○				○		○		○				
	実	○					○				○						○			
	葉	○		○	○	○	○		○	○			○		○		○	○	○	
用途		棚作り	壁面緑化	地被	壁面	地被	棚作り・壁面	棚作り	主木・列植	植込・群植	棚作り	壁面	壁面	壁面	主木	棚作り	棚作り	主木・列植	列植	
繁殖法		実・株	実・挿	株	実・挿	株	実・挿	取・挿	実・挿	株	挿	実・挿	実・挿	挿・取	株	実・挿・取	実・挿・接	実	株	

8) 地被類特性一覧表

平地の樹木の下や砂丘地、のり面等において使用可能な地被類について示す。草本類は多年生植物のみを示す。

表 7-40 緑化用地被類特性一覧 (1)

注) 高…H=0.5m以上 中…H=0.1~0.5m 低…H=0.1m以下

樹名		木本類														
		エニシダ	キヤラボク	キンシバイ	クサボケ	コトネアスター類	サツキ	ナギイカダ	ハイネズ	ハイビヤクシン	ハマナス	ヒメクチナシ	ピヨウヤナギ	フヨウ	ミヤギノハギ	メドハギ
科名		マメ	イチイ	オトギリソウ	バラ	バラ	ツツジ	ユリ	ヒノキ	ヒノキ	バラ	アカネ	オトギリソウ	アオイ	マメ	マメ
形態	常緑		○	○		○	○	○	○	○		○	○			
	落葉	○			○						○			○	○	○
	高	○	○	○	○		○			○	○		○	○	○	
	中		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○			○
適応地	低					○			○	○						
	砂地	○							○	○	○			○		
	中間部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特性	高冷地		○		○		○									○
	日照	陰		○		○	○	○				○				
		陽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	耐潮	○							○	○	○			○		
耐煙害		○			○			○	○		○					
耐湿							○									
観賞	花	○		○	○		○				○	○	○	○	○	
	実					○				○	○					
	葉		○	○		○	○	○	○	○		○				○
用途	平地		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	法面	○		○	○	○			○	○			○		○	○
	立面															
	下垂			○									○		○	
繁殖		実	挿	挿	挿	実・挿	挿	株分	実・挿	挿	実・挿・接	実・挿	挿	実・挿・株分	実・挿・株分	実
備考			県の木			ベニシタン、その他多種有り		宿根として用いることもある。	ナシの赤星病中間寄主	ナシの赤星病中間寄主						

表 7-41 緑化用地被類特性一覧 (2)

樹名		竹笹類					宿球根草類 コケ類									
		オカメザサ	クマザサ	コグマザサ	チゴザサ	チマキザサ	アシユガ	エビネ	オオキンケイギク	オオバジヤノヒゲ	オニヤブソテツ	オモト	カンナ	キチジョウソウ	ギボウシ	クサツゲ
科名		イネ	イネ	イネ	イネ	イネ	シリ	ラン	キク	ユリ	ウラボシ	ユリ	カンナ	ユリ	ユリ	ツゲ
形態	常緑	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○		○
	落葉								○				○		○	
	高		○			○			○		○		○			
	中	○		○	○			○		○	○	○		○	○	○
	低			○	○		○									
適応地	砂地			○									○			
	中間部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高冷地		○			○		○		○	○				○	
特性	日照	陰	○	○			○	○	○	○	○	○		○	○	
		陽	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○		○
	耐潮			○									○			
	耐煙害	○		○					○	○			○			
	耐湿									○	○	○		○	○	
観賞	花							○	○				○		○	
	実									○		○				
	葉	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
用途	平地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	法面	○	○	○	○	○				○				○		
	立面															
	下垂															
繁殖		株分	株分	株分	株分	株分	株分	実・株分	実・株分	株分	株分	株分	株分	株分	株分	株分・挿
備考						大山、扇ノ山系に多く自生。			河川周辺で多く見られる。				春植		斑入りも有る。	株分・挿 本来は木本性である。

表 7-42 緑化用地被類特性一覧 (3)

		宿 球 根 草 類 コケ類																
樹名		クラマゴケ	クローバー	ゴシキグサ	コウライシバ	シバザクラ	シヤガ	シユンラン	シラン	スイセン	スギゴケ	セキショウ	タマスタレ	タマリユウ	ツルニチニチソウ	ツワブキ	トクサ	ナルコユリ
科名		イワヒバ	マメ	ドクダミ	イネ	ハナシノブ	アヤメ	ラン	ラン	ヒガンバナ	スギゴケ	サトイモ	ヒガンバナ	ユリ	キョウチクトウ	キク	トクサ	ユリ
形態	常緑	○	○			○	○	○			○	○		○	○	○		○
	落葉			○	○				○	○			○				○	
	高														○			
	中		○				○	○	○	○		○	○		○	○	○	○
	低	○	○	○	○	○					○			○				
適応地	砂地		○		○	○				○					○	○		
	中間部	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高冷地						○	○				○					○	○
特性	日照	陰	○		○		○	○		○	○	○		○	○	○	○	○
		陽		○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	
	耐潮		○			○				○					○	○		
	耐煙害		○		○	○	○		○	○			○	○	○	○		
	耐湿	○					○					○			○	○	○	○
観賞	花		○			○	○	○	○	○			○		○	○		
	実																	
	葉	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
用途	平地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	法面		○		○	○	○							○	○	○		
	立面														○			
	下垂					○									○			
繁殖		株分	実	株分	株分	株分	株分	株分	株分	球根	株分	株分	球根	株分	株分・挿	株分	株分	株分
備考		コンテリクラマゴケを多く使用する	法面では肥料用として混植。	ドクダミの斑入種。		別名モスフロックス	湧水地等に使用できる。			夏に葉が無くなる。		河岸に多い。		リユウノヒゲの矮性種。	斑入種も有る。別名ピンカマジヨール	海岸の岩盤の生育する。		斑入種も有る。

表 7-43 緑化用地被類特性一覧(4)

樹名		宿根草類 コケ類															
		ノシバ	ハマギク	ハラシ	バミューダグラス類	ヒガンバナ	ヒベリカム	フッキソウ	ヘメロカリス	ベントグラス類	ホトトギス	マツバギク(メセン類)	マンネングサ	ヤブコウジ	ヤブラン	ユキノシタ	リュウノヒゲ
科名		イネ	キク	ユリ	イネ	ヒガンバナ	オトギリソウ	ツゲ	ユリ	イネ	ラン	ザクロソウ	ベンケイソウ	ヤブコウジ	ユリ	ユキノシタ	ユリ
形態	常緑		○	○			○	○		○		○	○	○	○	○	○
	落葉	○			○	○			○		○						
	高		○	○					○								
	中		○			○	○	○			○				○		
	低	○			○					○		○	○	○		○	○
適応地	砂地	○	○		○							○					
	中間部		○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	高冷地		○					○		○	○			○	○	○	○
特性	日照	陰			○					○	○		○	○	○	○	○
		陽	○	○		○	○	○	○	○		○	○		○	○	○
	耐潮	○	○		○							○					○
	耐煙害	○	○		○	○	○					○	○				○
	耐湿	○						○			○			○		○	○
観賞	花		○			○			○		○	○				○	
	実														○		○
	葉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
用途	平地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	法面	○			○	○	○		○	○		○			○		○
	立面																
	下垂											○					
繁殖		株分	株分・挿	株分	実・株	球根	挿	株分・挿	株分	株分・実	株分	株分・挿	株分・挿	株分	株分	株分	株分
備考					ティフトン類は株分け。	花と葉が別々に出る。	本来は木本性。	本来は木本性。	カンゾウの仲間。	冷涼な地帯に適す。				本来は木本性。	斑入はノシラン。		

表 7-44 緑化用地被類特性一覧(5)

		つる性												
樹名		アケビ	イタビカズラ	キヅタ	キューイ	クレマチス	サネカズラ	スイカズラ	ツルアジサイ	ツルウメモドキ	ツルバラ	ツルマサキ	テイカカズラ	テリハノイバラ
科名		アケビ	クワ	ウコギ	マタタビ	キンポウケ	モクレン	スイカズラ	ユキノシタ	ニシキギ	バラ	ニシキギ	キョウチクトウ	バラ
形態	常緑		○	○			○	○				○	○	
	落葉	○			○	○			○	○	○			○
	高	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中		○	○			○		○			○	○	○
	低													
適応地	砂地		○		○							○		○
	中間部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	高冷地	○		○					○					
特性	日照	陰		○	○				○			○		
		陽	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○
	耐潮		○									○	○	○
	耐煙害		○				○	○				○	○	○
	耐湿								○					
観賞	花					○		○	○		○		○	○
	実	○			○		○			○				
	葉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
用途	平地											○		
	法面	○												○
	立面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	下垂		○										○	
繁殖		実・挿	実・挿	実・挿	挿	実・挿・接	実・挿	実・挿	挿	実・挿	挿	挿	挿	挿・実
備考		実は食用。	オオイタビ	別名フユツタ	実は果物。	和名テッセン	別名ビナンカズラ			雌雄異株	多品種有り。			

表 7-45 緑化用地被類特性一覧(6)

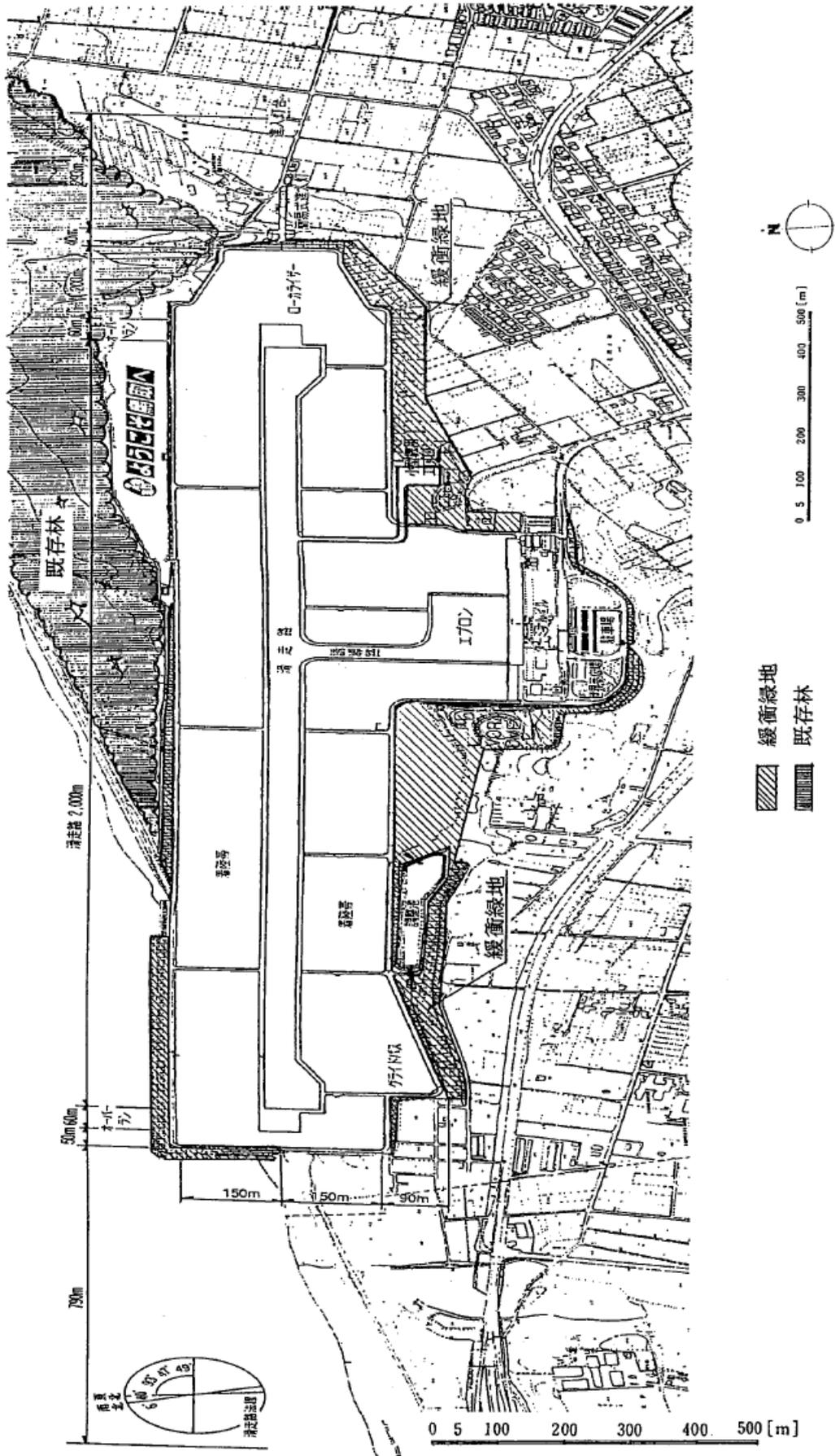
樹名		つる性									
		ナツツタ	ノウゼンカズラ	ヒメイタビ	フジ	ヘデラ・カナリアンシス	パリエゲータ	ヘデラ・カナリアンシス	ヘデラ・ヘリックス	ヘデラ・ヘリックス ピッツバーグ	ムベ
科名		ブドウ	ノウゼンカズラ	クワ	マメ	ウコギ	ウコギ	ウコギ	ウコギ	アケビ	バラ
形態	常緑			○		○	○	○	○	○	
	落葉	○	○		○						○
	高	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中	○		○	○	○	○	○	○	○	○
適応地	低							○	○		
	砂地		○	○				○	○		
	中間部	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
特性	日照										
	陰	○		○		○	○	○	○		
	陽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	耐潮		○	○				○	○		
	耐煙害	○		○		○	○	○	○		
観賞	耐湿										
	花		○		○						○
	実									○	
用途	葉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平地					○	○	○	○		
	法面				○	○	○	○	○		
	立面	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
繁殖	下垂					○	○	○	○	○	○
	挿・実	挿・実	挿	実・挿	実・接	挿	挿	挿	挿	実・挿	挿・接
備考		紅葉が美しい。				和名オオメヅタ	和名ニシキツタ、斑入り。	一般的な西洋キツタ。	小型種。	実は食用。	

表 7-46 芝の種類とその特性一覧表

生育季節	種名	改良品種	和名	繁殖	生育型	利用場所	適性						
							土性	土壌水分	生育温度	日陰	踏圧	刈込	塩分
日本芝	ノシバ	メイヤー, サンバード		苗	ほふく	P, Gr, Go Rs, A	砂壤土	乾	高温～ 冷涼	やや 強	強	強	強
	コウライシバ	F. C. 13521		〃	〃	Ga, P, Gr, F Go, A, R	〃	〃	高温	弱	〃	〃	〃
	ビロードシバ	エメラルド		〃	〃	Go	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
夏型	コモンパーミュ ーダグラス		ギョウ ギシバ	種子	〃	P, Gr, F, Rs A, R	砂又は 砂壤土	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	アフリカンパー ミューダグラス	ウガンダ		苗	〃	Ga, P, Gr, F Go, A, R	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	改良バミューダ グラス	テイフトン 57, 419, 328DW		〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
西洋芝	レッドトップ			種子	株立	Gr, Rs, A	壤土 (重)	湿	冷涼～ 低温	強	中	弱	弱
	コロニアルベン トグラス	オーストリア, ハイランド	ヌカボ	〃	〃	Ga, P, Go, R	〃	〃	〃	弱	やや 強	強	〃
	クリーピングベ ントグラス	シーサイト, バンクロス, エメラルド	コヌカ グサ	種子 苗	ほふく	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	ベルベットベン トグラス	ラリタン	ヒメヌ カボ	〃	〃	Ga, Go	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	ケンタッキーブ ルーグラス	メリオン, パーク フィルキン グ	ナガハ グサ	〃	株立	Ga, P, Gr, F Go, A, Rs, R	壤土 粘土	〃	〃	強	中	中	〃
	カナダブルーグ ラス		コイチ ゴツナ ギ	種子	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	レッドフェスキ ュー	イラヒー, ペンローン	オオウ シノケ グサ	〃	〃	〃	砂壤土 粘土	-	高温～ 低温	中	〃	〃	中
	シープフェスキ ュー	ワイヤリー フ	ウシノ ケグサ	〃	〃	〃	〃	-	〃	〃	〃	〃	〃
	トールフェスキ ュー	ケンタッキ ー31, フェスキ ュー	オニウ シノケ グサ	〃	〃	A, Rs	〃	-	〃	〃	弱	弱	〃
	ベレニアルライ グラス	ノーリヤ	ホソム ギ	〃	〃	Ga, P, Gr, F Go, A, Rs, R	-	-	冷涼～ 低温	やや 強	中	強	〃
イタリアン ライグラス	H-1	ネズミ ムギ	〃	〃	〃	-	-	〃	〃	〃	〃	〃	

7-2 施工・施設別緑化

(図 7-1) 鳥取空港緩衝緑地平面図

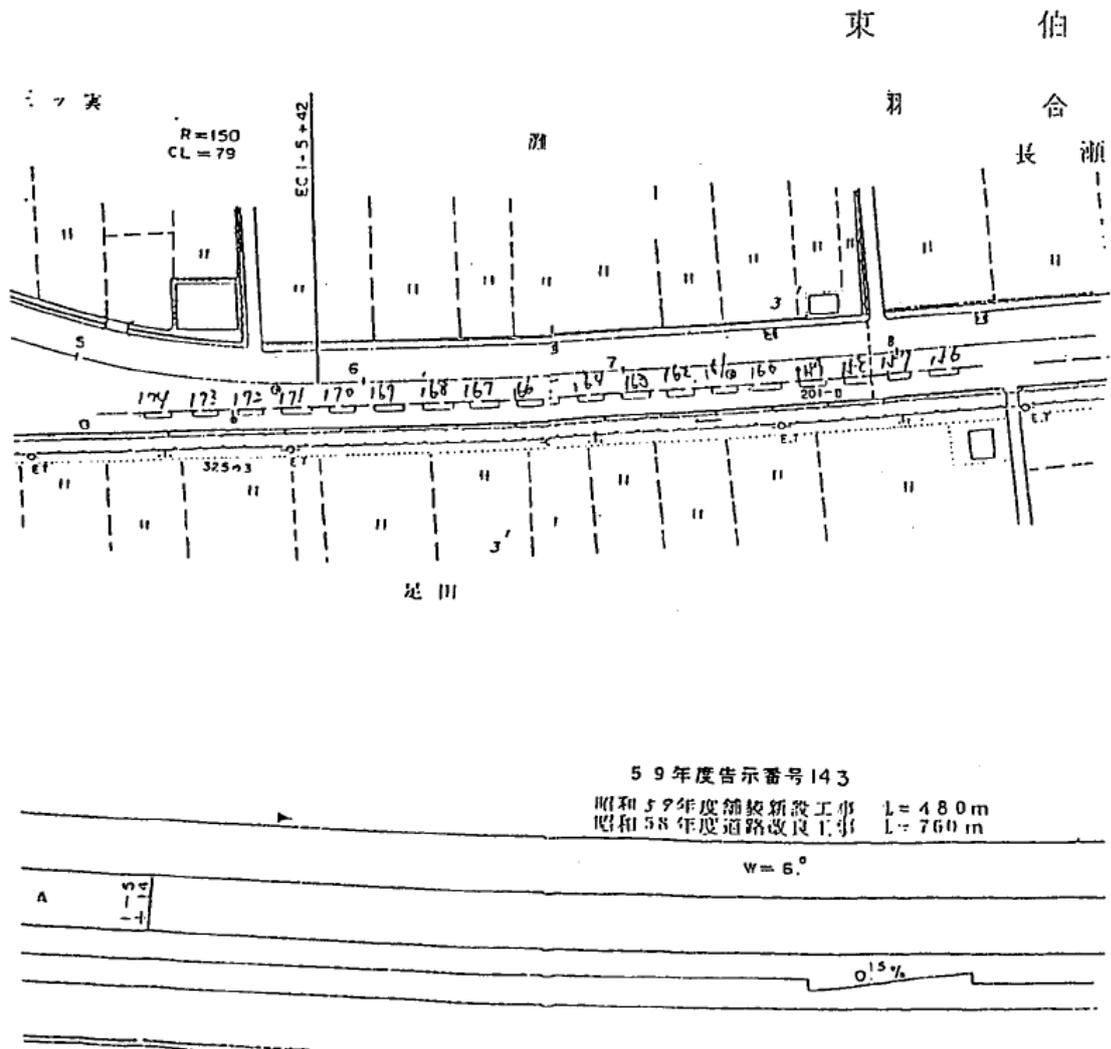


7-3 管理

表 7-47 施工管理内容

工 種	施工管理	施工検査
剪 定	施工箇所毎の施工前、施工後の写真による管理	
施 肥	施工箇所毎の施工中、または施工後の写真による管理	材料検査（品質、数量） 場合により施工後監督 員の空袋検査等による 確認
除 草	施工箇所毎の（1,000 m ² 以上の場合は 1,000 m ² に 1回）施工前、施工後の写真による管理	
清 掃	施工箇所毎、または約 2,000 m ² に 1回施工前、施 工後の写真による管理	
灌 水	作業日報、施工中の写真による管理	資料編参照
防 除	施工箇所毎に病虫害の状況を写真により管理	農薬使用については施 肥に準ずる
支柱補修	施工箇所毎の施工前、施工後の写真による管理	
補 植	同 上	樹木の材料検査
移 植	同 上	
芝 刈	施工箇所毎の（2,000 m ² 以上の場合は 2,000 m ² に 付 1回）施工前、施工後の写真による管理	
寒風予防	施工箇所毎の施工前、施工後の写真による管理	
巡 回	巡回日誌の提出 巡回時の植樹箇所の状況写真提出	工事日誌による 資料編参照

図 7-3 植栽維持管理図面 (道路台帳使用)



植樹管理作業台帳

NO	年度	区 間	灌水面積	植栽面積	芝生面積

種 別	工 種	平成 年度 管理 内容				平成 年度 管理 内容			
		上 期 (4月～9月)		下 期 (10月～3月)		上 期 (4月～9月)		下 期 (10月～3月)	
樹 種	剪定面積								
樹高別	施肥面積	生育	土壌	施肥	施肥	生育	土壌	施肥	施肥
様 式	防除面積								
本 数	その他の作業								
面 積									
樹 種	剪定面積								
樹高別	施肥面積	生育	土壌	施肥	施肥	生育	土壌	施肥	施肥
様 式	防除面積								
本 数	その他の作業								
面 積									
樹 種	剪定面積								
樹高別	施肥面積	生育	土壌	施肥	施肥	生育	土壌	施肥	施肥
様 式	防除面積								
本 数	その他の作業								
面 積									
樹 種	剪定面積								
樹高別	施肥面積	生育	土壌	施肥	施肥	生育	土壌	施肥	施肥
様 式	防除面積								
本 数	その他の作業								
面 積									
樹 種	剪定面積								
樹高別	施肥面積	生育	土壌	施肥	施肥	生育	土壌	施肥	施肥
様 式	防除面積								
本 数	その他の作業								
面 積									

(表 7-48) 花木着花習性別剪定時期

着花習性	剪定時期	樹種名
①当年枝に花芽分化し、翌春に開花するもの	落花直後	アケビ、アジサイ、アセビ、ウツギ、ウメ、エニシダ、エンジュ、オガタマノキ、カリン、カンヒザクラ、キリシマツツジ、クチナシ、コクチナシ、コデマリ、コブシ、ザイフリボク、サクラ類、サツキ、シャリンバイ、ジンチヨウゲ、タイサンボク、テイカカズラ、トウオガタマノキ、ドウダンツツジ、トサミズキ、ニセアカシア、ネジキ、ハクモクレン、ハナカイドウ、ハナミズキ、ヒラギナンテン、ヒメシデコブシ、ヒメシャラ、ヒュウガミズキ、フサアカシア、ホソバアカメギ、ミカン、ミズキ、ヤブツバキ、ヤブデマリ、ユキヤナギ、ユクノキ、リュウキュウツツジ、リョウブ、レンギョウ、ロウバイ
②当年枝に花芽分化し、当年の夏～秋に開花するもの	秋から翌春の萌芽期前まで	エゴノキ、キョウチクトウ、キンシバイ、キンモクセイ、ザクロ、サザンカ、サルスベリ、シモツケ、チャノキ、ハギ、ハクチョウゲ、アペリア、ハマボウ、バラ、ヒイラギ、ヒイラギモクセイ、ビョウヤナギ、フヨウ、ムクゲ、ムベ
③前年枝に着花するもの	落葉直後に新梢を切り戻す	シロヤマブキ、ネムノキ、ヤマブキ

(表 7-49) 花木の開花期と花芽分化期

名称	開花期(月)	花芽分化期	名称	開花期(月)	花芽分化期
アケビ	4(中)～5(上)	7～8	トサミズキ	3(中)～4(上)	8
アジサイ	5(中)～7	10(上)～(中)	ニセアカシア	5	7
アセビ	3(下)～4	7(中)	ネジキ	5(中)～6(中)	8(上)
ウツギ	5～6	7(中)	ハクモクレン	3～4(上)	5(中)
ウメ	1(下)～3(中)	7(上)～8(中)	ハナカイドウ	3(中)～4	7
エニシダ	5～6	8	ハナマキ	5～6(中)	7(中)
エンジュ	7～8(中)	9	ハナミズキ	4(中)～5(上)	7(下)～8(上)
オガタマノキ	4	7	ヒイラギナンテン	3(中)～4(中)	8
カリン	4	7	ヒトツバタゴ	5	7(下)～8(上)
カンヒザクラ	1(中)～3(中)	7	ヒメシデコブシ	3	7
キリシマツツジ	4(中)～5(中)	6(下)～7(上)	ヒメシャラ	6(中)～7(中)	8
クチナシ	6～7	7,9	ヒュウガミズキ	3(中)～4(上)	8
コクチナシ	6～7	7,9	フサアカシア	3	7
コデマリ	4(中)～5(中)	10(上)	ホソバアカメギ	3(中)～4(中)	7
コバノズイナ	5(中)～6(中)	9	ミカン	5	7
コブシ	3	7	ミズキ	5(中)～6(中)	7
ザイフリボク	4(中)～5(中)	7	ヤブツバキ	1(中)～4	6(上)～9(上)
サクラ類	3(中)～4(上)	6(下)～7(上)	ヤブデマリ	4(中)～5(中)	7
サツキ	5(中)～6	6(下)～8(中)	ユキヤナギ	3(中)～4(中)	9(下)～10(上)
シャリンバイ	4(中)～5(中)	7～8	ユクノキ	6～7	9(下)～10(上)
ジンチヨウゲ	3～5(中)	7(上)	リュウキュウツツジ	4(中)～5(上)	6(下)～8(上)
タイサンボク	5(中)～6	8	リョウブ	7～9	8
テイカカズラ	5～6	8(上)	レンギョウ	2(中)～4(中)	8
トウオガタマノキ	5	8(上)	ロウバイ	1～2	7(下)～8(中)
ドウダンツツジ	4(中)～5(中)	7			

(表 7-51) 除草の対象となる主な雑草例

科名	種名	開花期	結実期	一年草	越年草	多年草
アカバナ科	オオマツヨイグサ	夏	秋		○	
	マツヨイグサ	夏	秋			○
キク科	ブタクサ	夏	秋	○		
	オニタビラコ	年 中	年 中		○	
	ノゲシ	春～夏	夏～秋		○	
	ヨモギ	夏～秋	秋		○	
	ヒメムカシヨモギ	夏～秋	秋		○	
	オオアレチノギク	夏	秋		○	
	アキノキリンソウ	晩夏～秋	秋			○
	セイタカアワダチソウ	夏～秋	秋			○
クワ科	カナムグラ	秋	秋～初冬	○		
セリ科	ヤブジラミ	春～夏	夏～秋		○	
タデ科	イタドリ	夏～秋	秋			○
	ギシギシ	夏	秋			○
	スイバ	春～夏	夏～秋			○
ヒユ科	イヌビユ	夏～秋	秋	○		
	イノコズチ	晩夏～秋	秋			○
ブドウ科	ヤブカラシ	夏	秋			○
マメ科	ヌスビトハギ	夏～秋	秋			○
	カラスノエンドウ	春	春～夏		○	
	クズ	晩夏～秋	秋			○
イネ科	イヌビエ	晩夏～秋	秋	○		
	オヒシバ・メヒシバ	晩夏～秋	秋	○		
	エノコログサ	晩夏～秋	秋～初冬	○		
	チカラシバ	晩夏～秋	秋～初冬			○
	メリケンカルカヤ	晩夏～秋	秋～初冬			○
	チガヤ	晩 春	晩春～早夏			○
	ススキ	晩夏～秋	初 秋			○

7-3-1 植物材料のリサイクル方法

(表 7-52) 植物発生材料のリサイクル方法

	発生材料の種類	利用方法	効果、主な使いみち等	問題点
原形利用	間・除伐材 剪定枝葉	燃料(間・除伐材を薪にしたり、剪定枝葉を焚付材として利用)	冬季の暖房用、キャンプの薪、各種イベントでの利用	貯蔵場所の確保、貯蔵時の火気の注意
	落葉	マルチング材(樹林地や植込み地の林床に敷き詰め、マルチング材として利用)	表層土壌の乾燥防止、降雨による浸食防止、落葉の分解による土壌への腐食分の供給	風による飛散対策や乾燥期の防火対策
	落葉	舗装材(園路に落ち葉を敷き詰め舗装材として利用)		
	間・除伐材、落葉	工芸材料(クラフト材や草木染めの材料として利用)	公園でのイベントの環境として利用	需要量は発生量に対してわずか
物理的 加工利用	間・除伐材	燃料(木質材料を粉碎・整形加工し、固形燃料として利用)	例：オガライト	大がかりなプラントが必要
	間・除伐材 剪定枝	チップ化(粉碎機を用いてチップ化し、マルチング材、クッション材、舗装材として利用)	原材料に対し体積が大幅に減少し、貯蔵・運搬に有効的 園路や遊具まわり、林床など	機械が高価で取扱いに熟練を要する 騒音、粉塵の発生 保管時の火気注意
	間・除伐材	造園資材(植栽木の支柱、土留め材、杭、木柵、樹木札等として利用)		整形加工が必要となり、耐久性が劣り、規格が不統一である
化学的 加工利用	間・除伐材 剪定枝葉	炭化(木炭にしての利用)	土壌改良材、水質浄化材、融雪材、バーベキューなどの燃料 副産物の木酢液は殺菌剤になる	炭焼き窯などが必要 従来型では夜間の火の管理も必要
	もみがら、わら	飼料(粉碎、加熱・加工して膨軟化し、飼料として利用)		公園内で消費できない場合の利用方策
生物的 加工利用	落葉、刈り芝、 剪定枝葉	堆肥化、腐葉土化(集積し、切り返し・散水を行い、必要に応じて発酵促進剤などを混ぜて発酵・堆肥化して利用)	堆肥を再び植栽地に還元する生態的管理を考えるうえで有効な手法	処理量が多いと大型プラントが必要 発酵促進剤を使用すると維持費もかさむ
	植物性廃棄物	燃料(メタン発酵、アルコール発酵の培養基として、発酵ガスを燃料として利用)		施設整備や管理に費用がかかる 防災対策が必要
その他	間伐材	きのこ栽培(シイタケ栽培のほだ木として利用)	イベント時の利用	
	間・除伐材、 落葉	昆虫類の生息場所(林内に集積し、カブトムシなどの幼虫の生息場所として利用)		

(表 7-53) 搬入時を 1.00 とした場合の重量・容積変化係数

区分		項目	搬入時	破碎後	堆肥完成時
木本原料	夏季剪定	重量	1.00	-	0.33
		容積	1.00	0.18	0.13
	冬季剪定	重量	1.00	-	0.41
		容積	1.00	0.18	0.13
草本原料	夏季除草	重量	1.00	-	0.51
		容積	1.00	0.60	0.19
	秋季除草	重量	1.00	-	1.17
		容積	1.00	0.60	0.28

7-4 用語集

7-4-1 樹木の性状

① 高木と中木・低木

樹木は標準的にはそれぞれの生長完成時の大きさに下表の通りに分けられる。

但し、施工時の大きさや管理による生長の抑制等で、高木や中木を中木・低木として用いることや、道路・港湾・工場等施設別の緑化基準で分類に差がある。

	樹高
高木	3m 以上
中木	1m 以上 3m 未満
低木	1m 未満

② 針葉樹と広葉樹

針葉樹は、裸子植物の中で球果をつけ葉が針状又は鱗状のものであり、ソテツやイチョウも含めて裸子植物全部を指すこともある。広葉樹は葉面が広く、網状に葉脈が走っており、一般にはっきりした花をつけ、被子植物と呼ばれる。

③ 落葉樹と常緑樹

秋に紅葉して、冬にはすべての葉を落とすものを落葉樹、一年中葉が見られるものを常緑樹と呼ぶ。なお、常緑樹には春先にほとんど全葉が替わるものと、年間を通じて徐々に新旧交替をはかるものがあり、落葉の発生時期や量の差がある。また、春先の新旧交替にあたり、落葉が早く新葉の展開までの間に落葉樹と同じ状態になるものを半落葉樹という場合もある。

④ 雌雄異株と同株

樹木には、一本の固体に雌花や雄花だけをつける雌雄異株と雌雄の花を一本の固体につける雌雄同株がある。

- ・ 雌雄異株……イチョウ・クロガネモチ・ヤマモモ・ポプラ・ヤマボウシ等

クロガネモチのように、その実を觀賞するものや野鳥を誘致する場合には雌木が使われるし、イチョウ等で街路樹や公園の緑陰樹を計画する場合は、成熟した果実が悪臭をはなつため、雄木が使用される。

⑤ 深根性と浅根性

根の形態は大きく2つに分けられる。深根性のものは直根を有し、深く根が入り、浅根性のものは浅いところで横に広がっていく。

また、栽培品や移植を行ったものでは、深根性のものでも直根がないものがある。深根性で直根が十分に生育出来ないものや浅根性で根の広がり悪いものは地上部の生育が劣り、風に弱く倒伏しやすい。

- ・ 深根性樹木……クロマツ・イチョウ・イロハモミジ・クヌギ・コナラ
 - ・ シイノキ・プラタナス・マテバシイ等
 - ・ 浅根性樹木……ケヤキ・カイズカイブキ・トウカエデ・キンモクセイ
 - ・ モッコク・クロガネモチ・ナンキンハゼ等
- ※（図2-2）を参照

⑥陰性（陰樹）と陽性（陽樹）

陽光の十分当たるところでないと、良好な生育を示さないものを陽性（陽樹）といい、日陰でも生育できるものを陰性（陰樹）という。

- ・ 陰樹……アオキ・アセビ・カクレミノ・ヒイラギナンテン・ヤツデ
ヒイラギモクセイ・アジサイ・イヌマキ・サザンカ等
- ・ 陽樹……クロマツ・アオギリ・ウメ・ケヤキ・スズカケノキ・センダン
ニセアカシア・イチョウ等

但し、陰樹のほとんどのものは日当たりの良い場所での生育が可能であり、また常緑照葉樹の一部（ヤブツバキ・タブ・ヤマモモ等）は、幼木の段階では陰樹であり、成木になると陽樹となるものがある。

一般に建物の密集した場所では、陽光が有効にとどかない場合が多いため陰性が好ましく、陽光の十分当たる場所では陽性が好ましいことになる。

⑦その他の性質

樹木は、耐寒性、耐塩性、耐乾性等や土壌成分、PH、土壌の粗密、湿潤度などにそれぞれ好みを持っており、気象に対しても生育温度を選ぶなど環境に対しての適応性は樹種によってさまざまである。 ※（表7-1-1～5）等を参照

7-4-2 地被

地被とは、平面的な広がりをもって、地表を被覆する植物をいう。地被植栽は、このような植物を用いて、地表を平面的に低く被覆するための植栽で、最も代表的なものは芝生である。

7-4-3 草花

木質組織の発達しないものをいう。

- a) 1年草 多年草、2年草に対して区別する語で、その年に種をまき、芽が出て花が咲き、実がなり、枯れておわるものをいう。
- b) 2年草 越年草ともいい、1年草、多年草に対して区別する語で、その年の秋に芽を出し冬を越して春に花が咲き、実がなり、枯れるまでに2年を要する植物をいう。
- c) 多年草 樹木以外の植物で、地下の部分が2年以上生存しているもの。つまり冬になって、地上の部分が枯れても春になると芽を出す植物をいう。
 - ・ 宿根性 冬になっても根が枯れないで、春になったら、また芽を出す植物をいう。
 - ・ 球根性 球状（塊状）の茎や根をもった植物をいう。

7-4-4 特殊樹木

ヤシ類、ソテツ類、ドレセナ類等をいうが、下記のその他を含めていう場合もある。

7-4-5 その他

- ・ 竹 常緑多年生植物。横に走る地下茎から直立・中空で節のある地上茎が出る。葉は、細長い。
- ・ 笹 丈の低い竹類の総称。
- ・ つる物 フジやツタ類の様につるとなって生育する植物をいい、その形質を利用して、パーゴラやスクリーン、地被として利用する。

添え柱型（1本支柱-1）竹
 樹高 100cm 以上 250cm 未満

添え柱型（1本支柱-1）丸太
 樹高 150cm 以上 250cm 未満

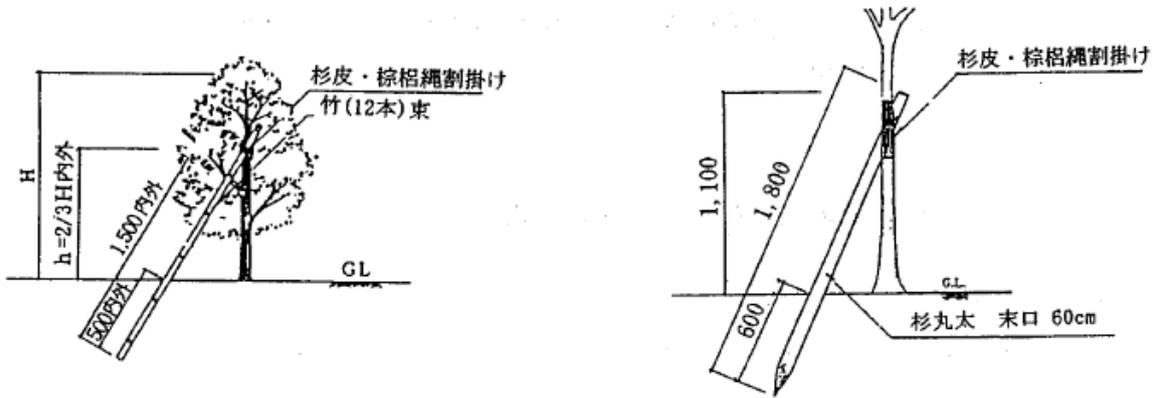
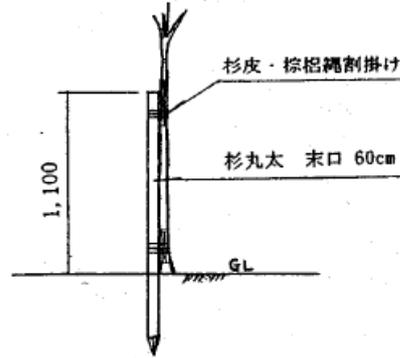
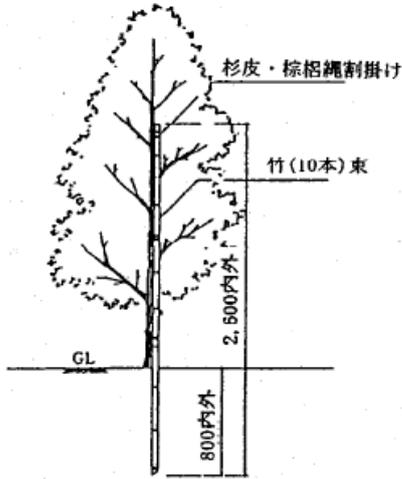


図 7-4 支柱形式（その 1）

添え柱型 (1本支柱-2) 竹
 樹高 100cm 以上 250cm 未

添え柱型 (1本支柱-2) 丸太
 樹高 150cm 以上 250cm 未満

(主としてふるい根の場合)



二脚鳥居支柱 (添え木付)
 幹周 30cm 未満

二脚鳥居支柱 (添え木なし)
 幹周 20cm 以上 30cm 未満

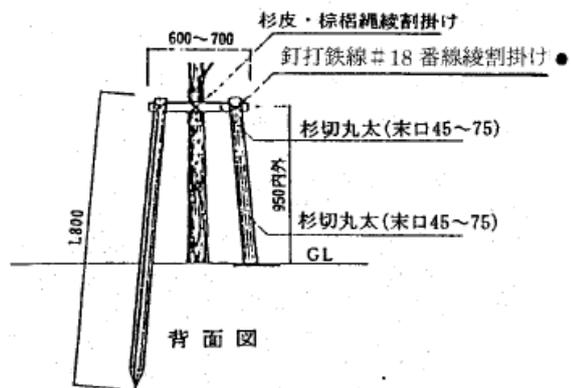
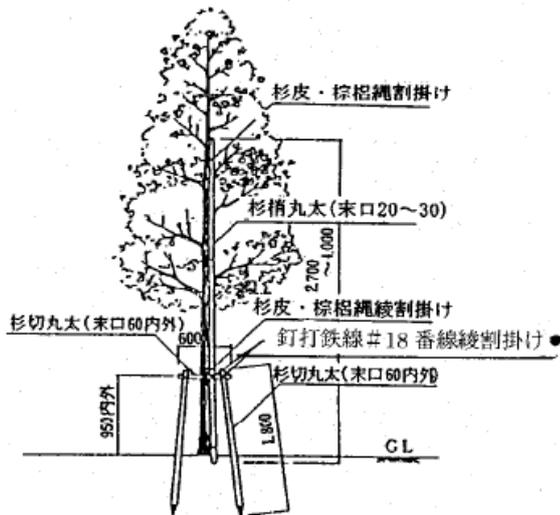
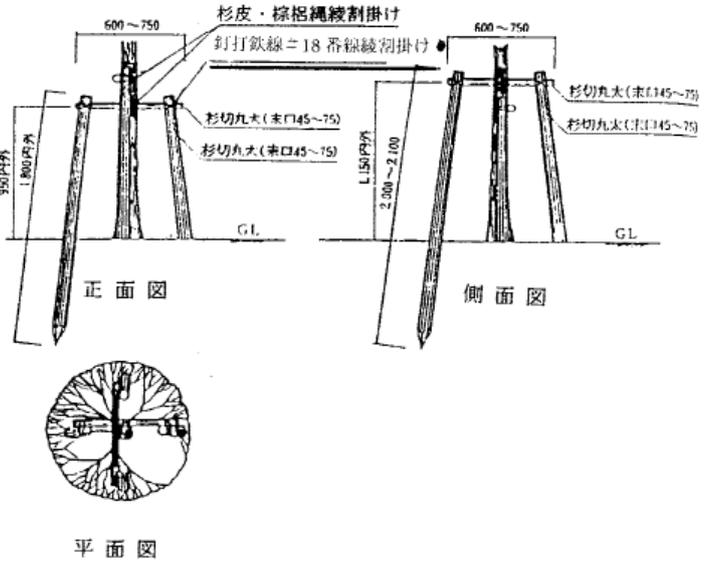
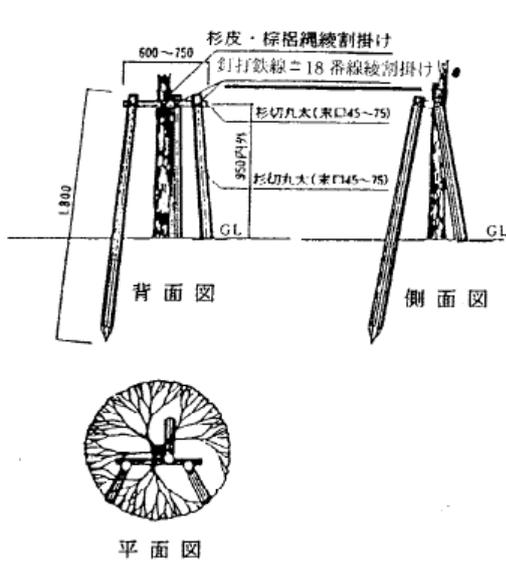


図 7-5 支柱形式 (その2)

三脚鳥居支柱
幹周 30cm 以上 60cm 未満

十字鳥居支柱
幹周 30cm 以上 60cm 未満



二脚鳥居組合せ支柱
幹周 40cm 以上 75cm 未満

八つ掛け支柱 (唐竹)
幹周 20cm 未満

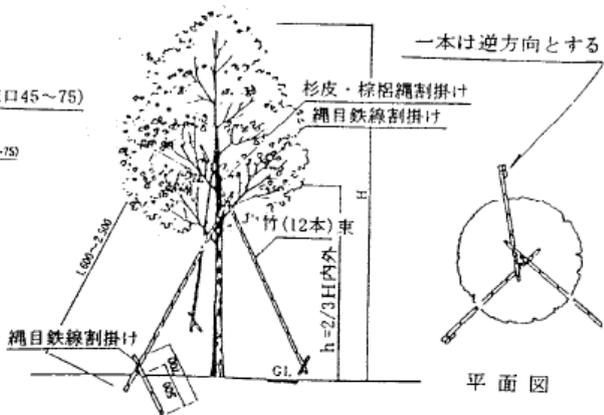
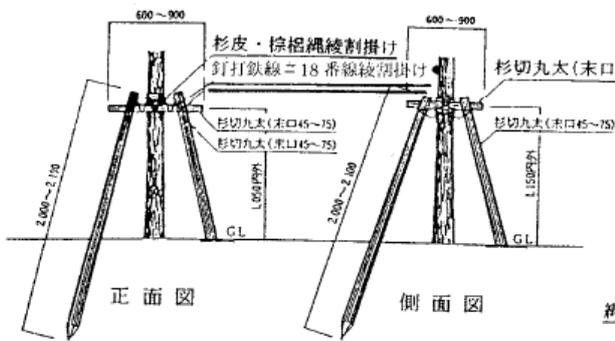
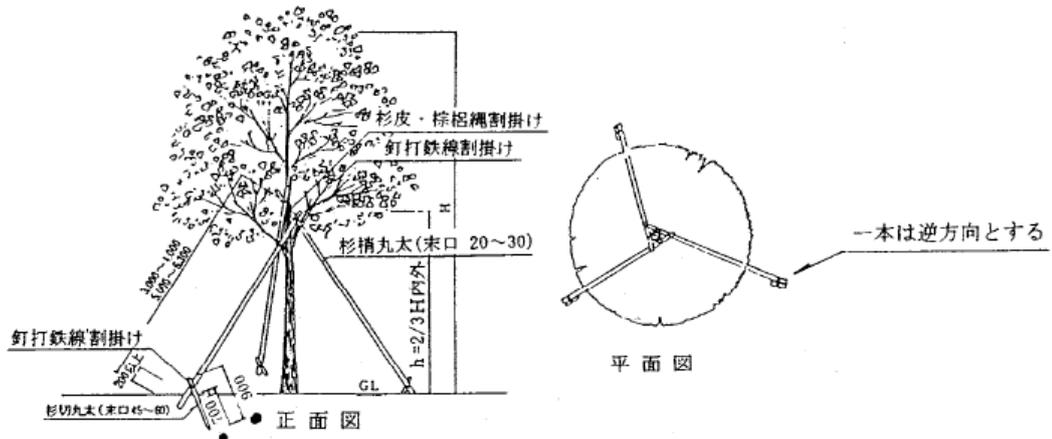


図 7-6 支柱形式 (その 3)

八つ掛支柱(丸太)

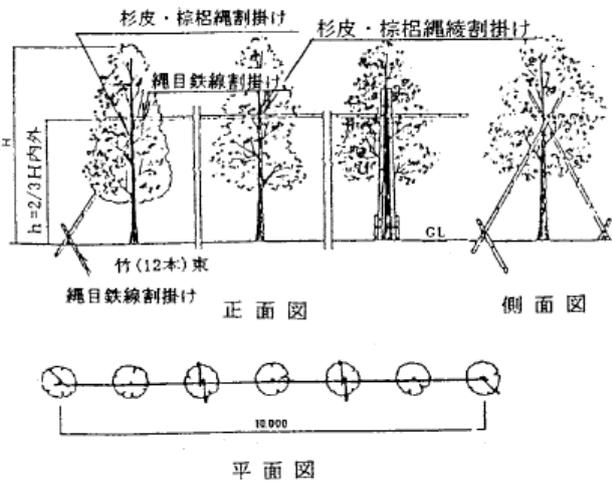
幹周 20cm以上 35cm未満 (L=4m)

幹周 30cm以上 75cm未満 (L=6~7m)



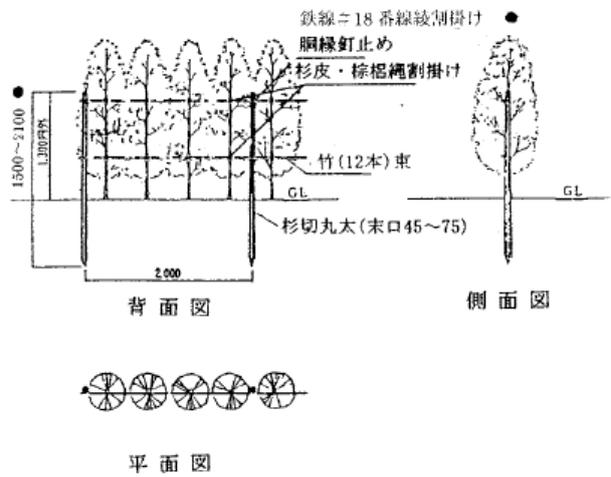
布掛け(竹)支柱

樹高 300cm 未満



生垣支柱

樹高 100cm 以上 300cm 未満



※使用場所や樹種、樹木の規格によっては
添竹をつける場合もある。

図 7-8 支柱形式(その5)